

特記仕様書

A 特記仕様

1. 工事名称

鳴門教育大学テニスコート内通路外灯取設工事
2. 工事位置

鳴門市鳴門町高島字中島748番地 鳴門教育大学高島団地内
3. 完成期限

平成 24 年 3 月 23 日（金曜日）
4. 契約事項

国立大学法人鳴門教育大学工事請負契約基準による。
5. 請負代金の支払

完成検査完了後、国立大学法人鳴門教育大学経営企画本部財務課より1回に支払う。
6. 工事範囲

本工事は、公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）平成22年版、公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）平成22年版及び設計図面 1 枚によるほか、監督職員の指示により施工する。
7. 監督職員の権限

国立大学法人鳴門教育大学工事請負契約基準第9第2項第1号から第3号に示す範囲とする。
8. 工事写真等

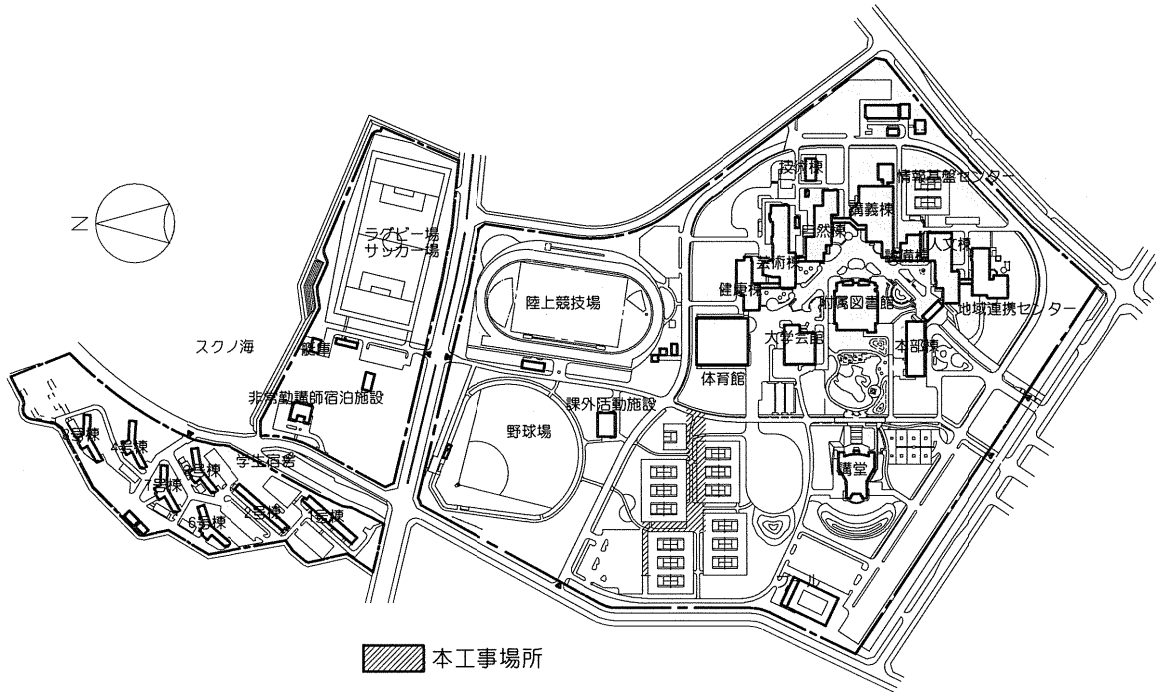
提出部数 1 部（カラー、A 4版工事写真帳に整理）

工事範囲表

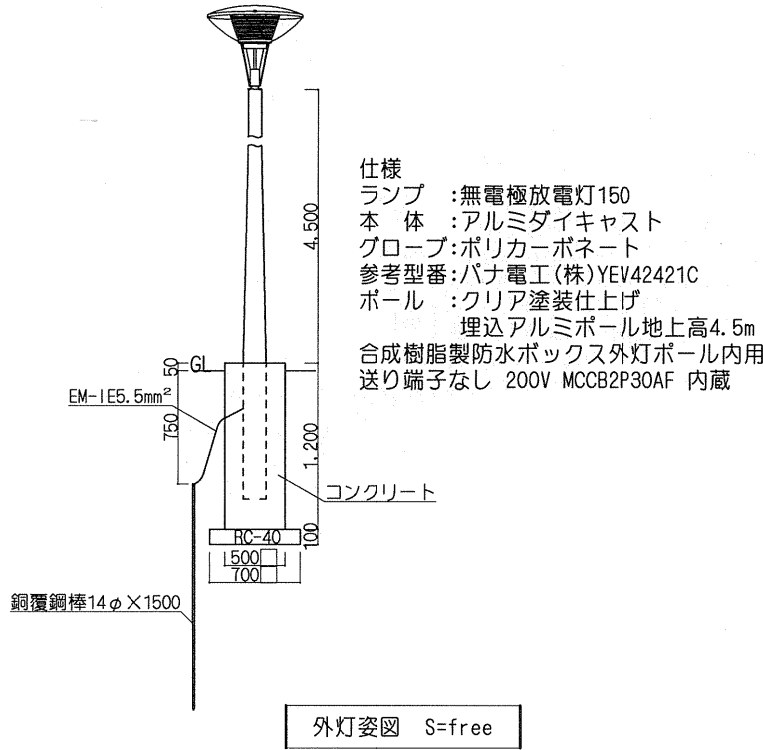
名	称	摘 要	数 量	備 考
1. テニスコート内通路外灯取設工事			一 式	

B 特記事項

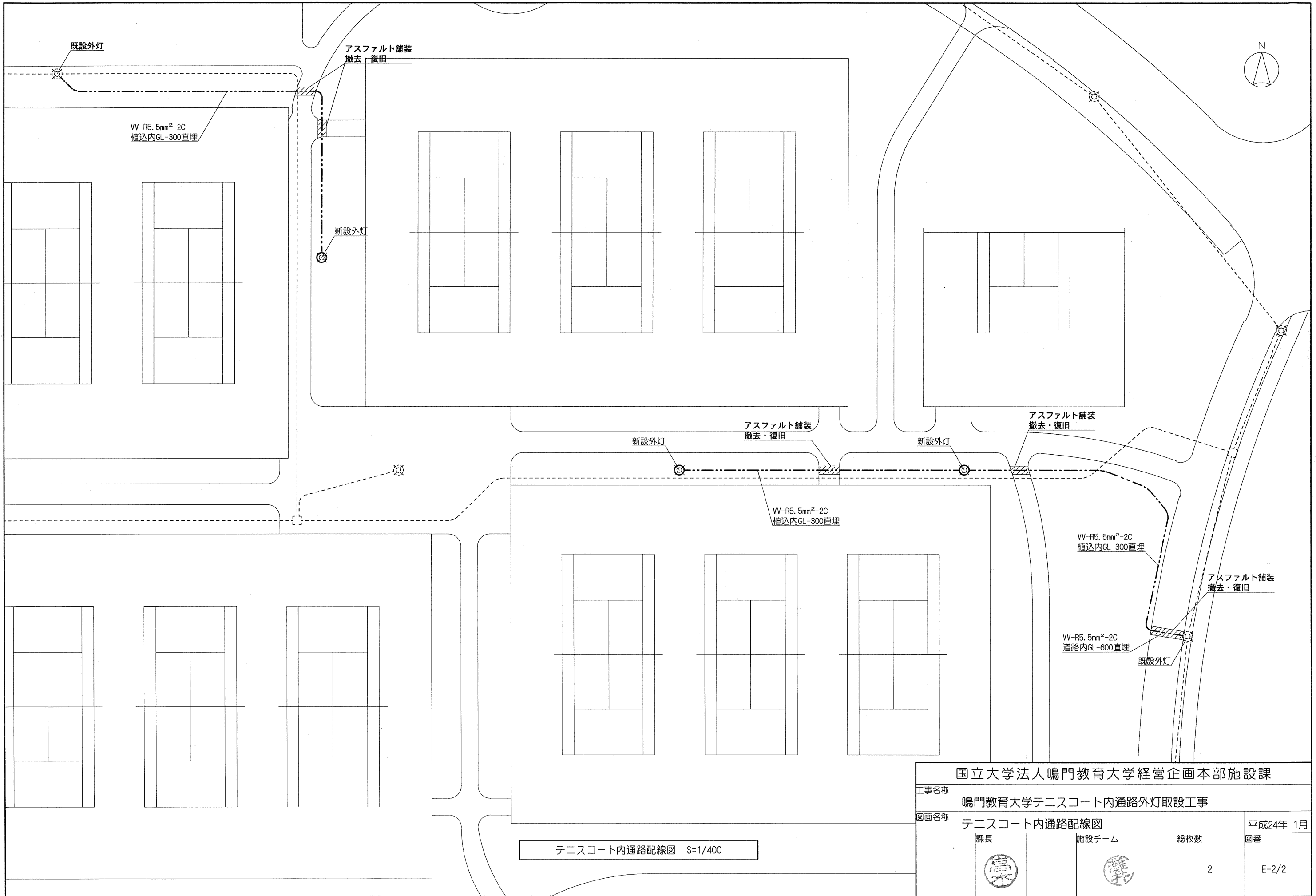
1. 工事内容
- (1) テニスコート内通路外灯取設工事
- 図示のとおり、テニスコート内の通路に外灯を取り設ける。
2. 撤去品
- 撤去品は関係法令に従い適切に処分する。



鳴門教育大学高島団地配置図 S=1/6,000



国立大学法人鳴門教育大学経営企画本部施設課				
工事名称 鳴門教育大学テニスコート内通路外灯取設工事				
図面名称 特記仕様書・配置図・照明器具姿図				平成24年 1月
課長	施設チーム	総枚数	図番	
		2	E-1/2	



テニスコート内通路配線図 S=1/400

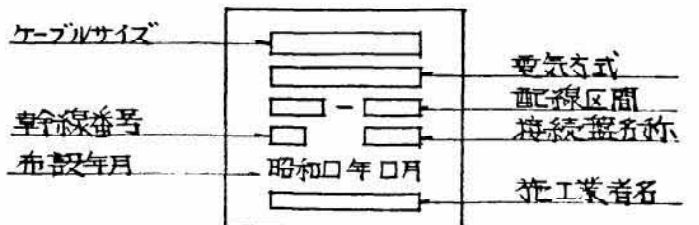
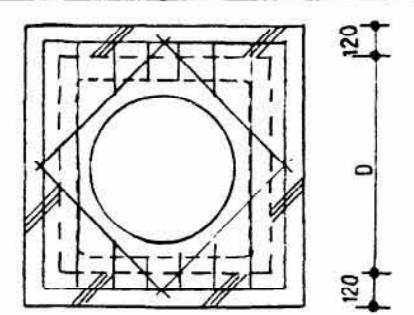
国立大学法人鳴門教育大学経営企画本部施設課				
工事名称 鳴門教育大学テニスコート内通路外灯取設工事				
図面名称 テニスコート内通路配線図				平成24年 1月
課長	施設チーム	総枚数	図番	
		2	E-2/2	

外線工事凡例

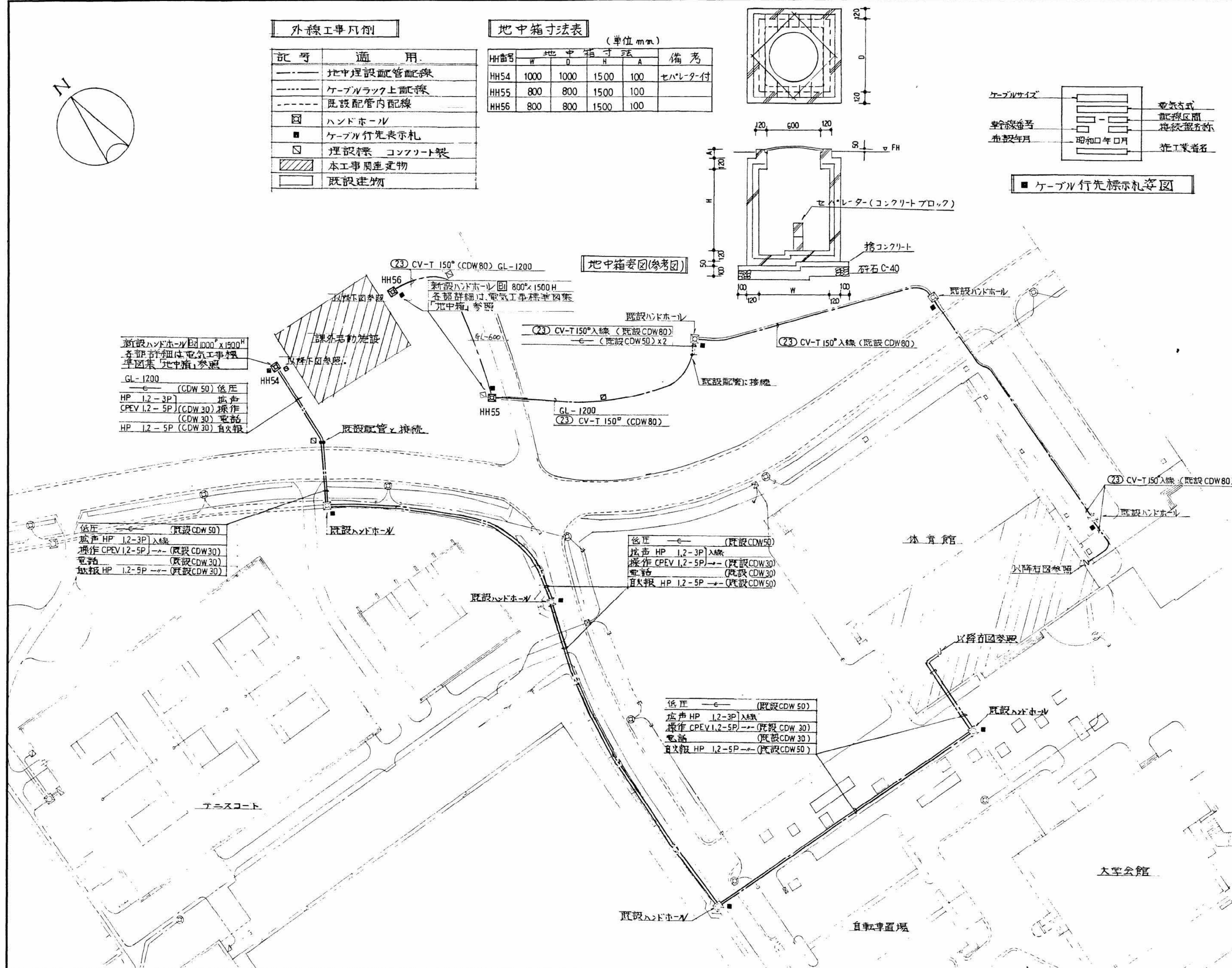
記号	通 用
---	地下埋設配管配線
---	ケーブルラック上面配線
---	既設配管内配線
□	ハンドホール
■	ケーブル行先表示札
□	埋設機 コンソート製
▨	本工事関連建物
▩	既設建物

地中箱寸法表

H(高さ)	地 中 箱 寸 法				備 考
	W	D	H	A	
HH54	1000	1000	1500	100	セパレーター付
HH55	800	800	1500	100	
HH56	800	800	1500	100	

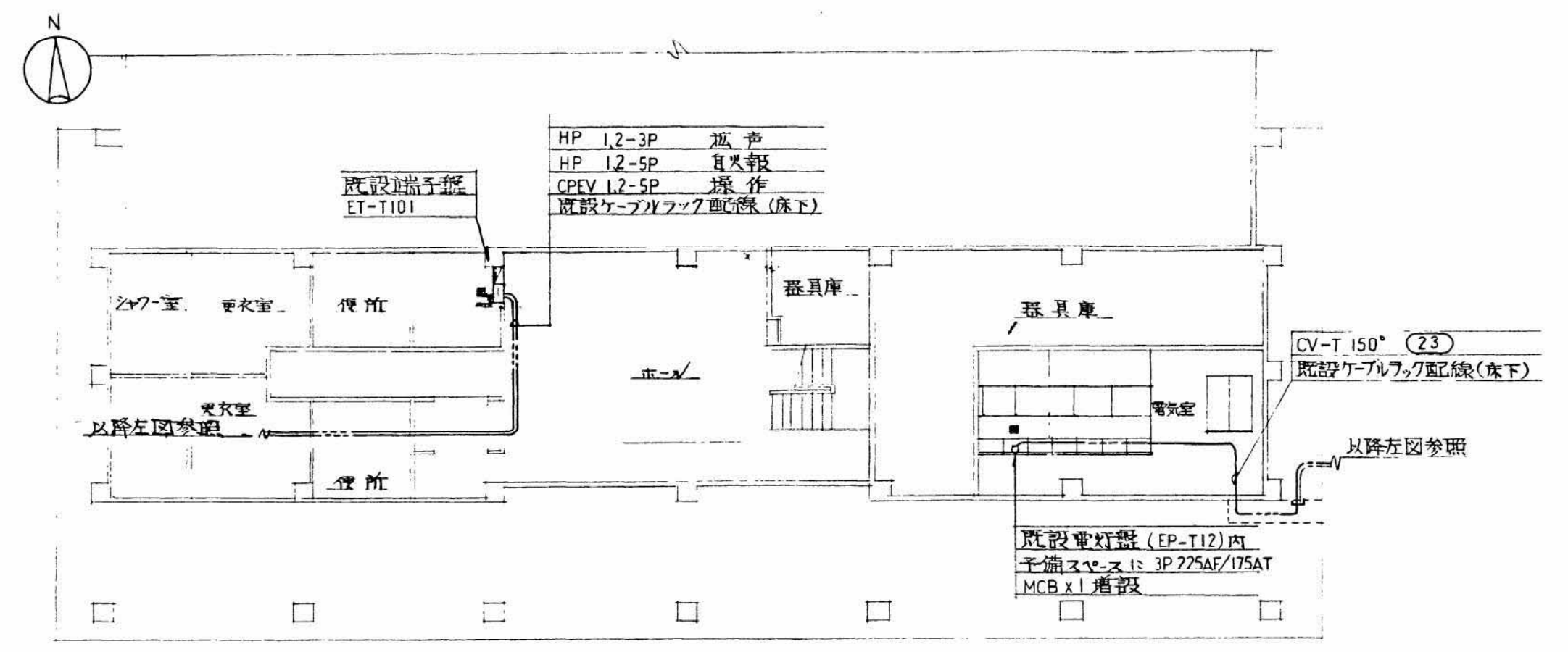


ケーブル行先標示札配置図

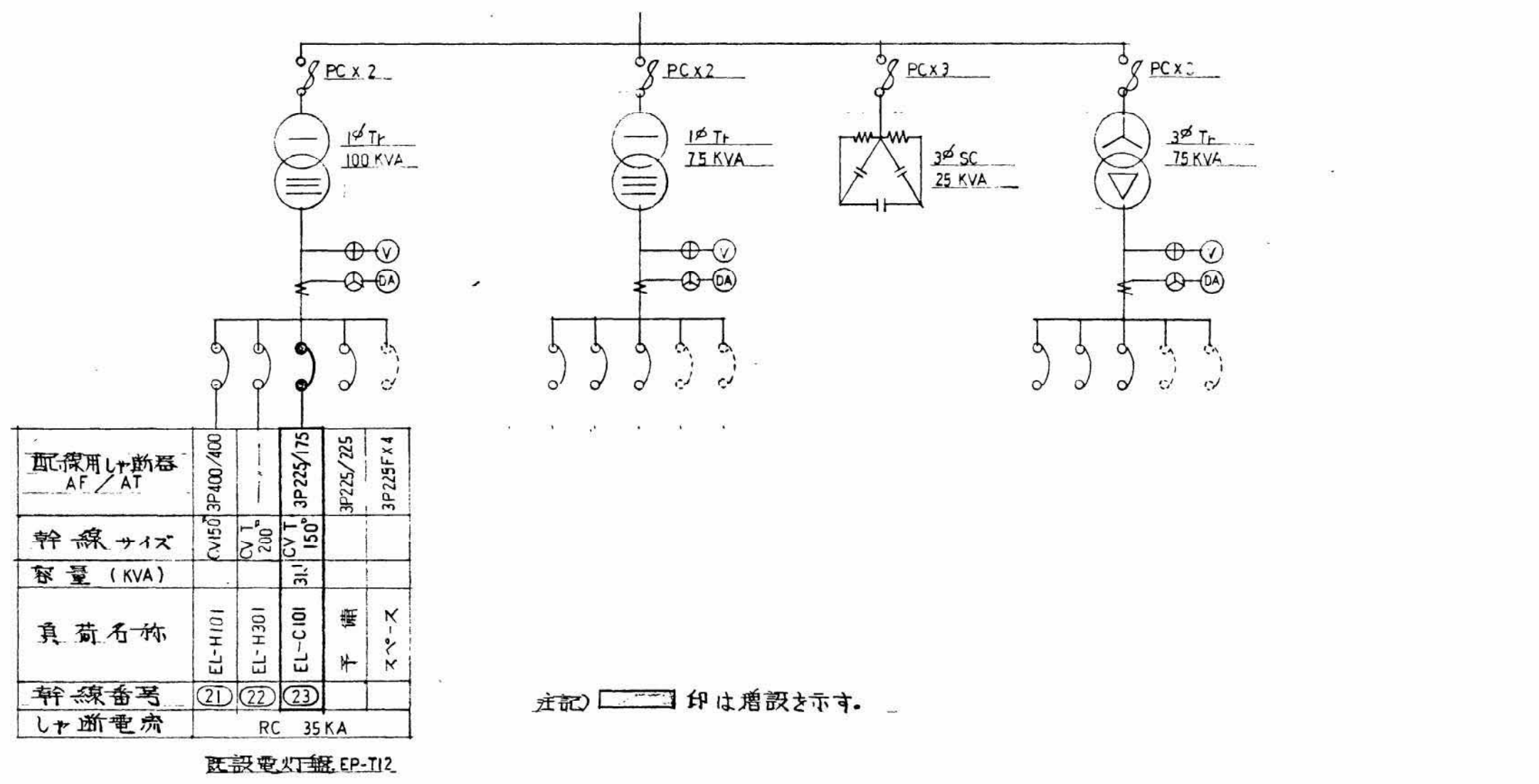


既設体育館配線図

S・1/200

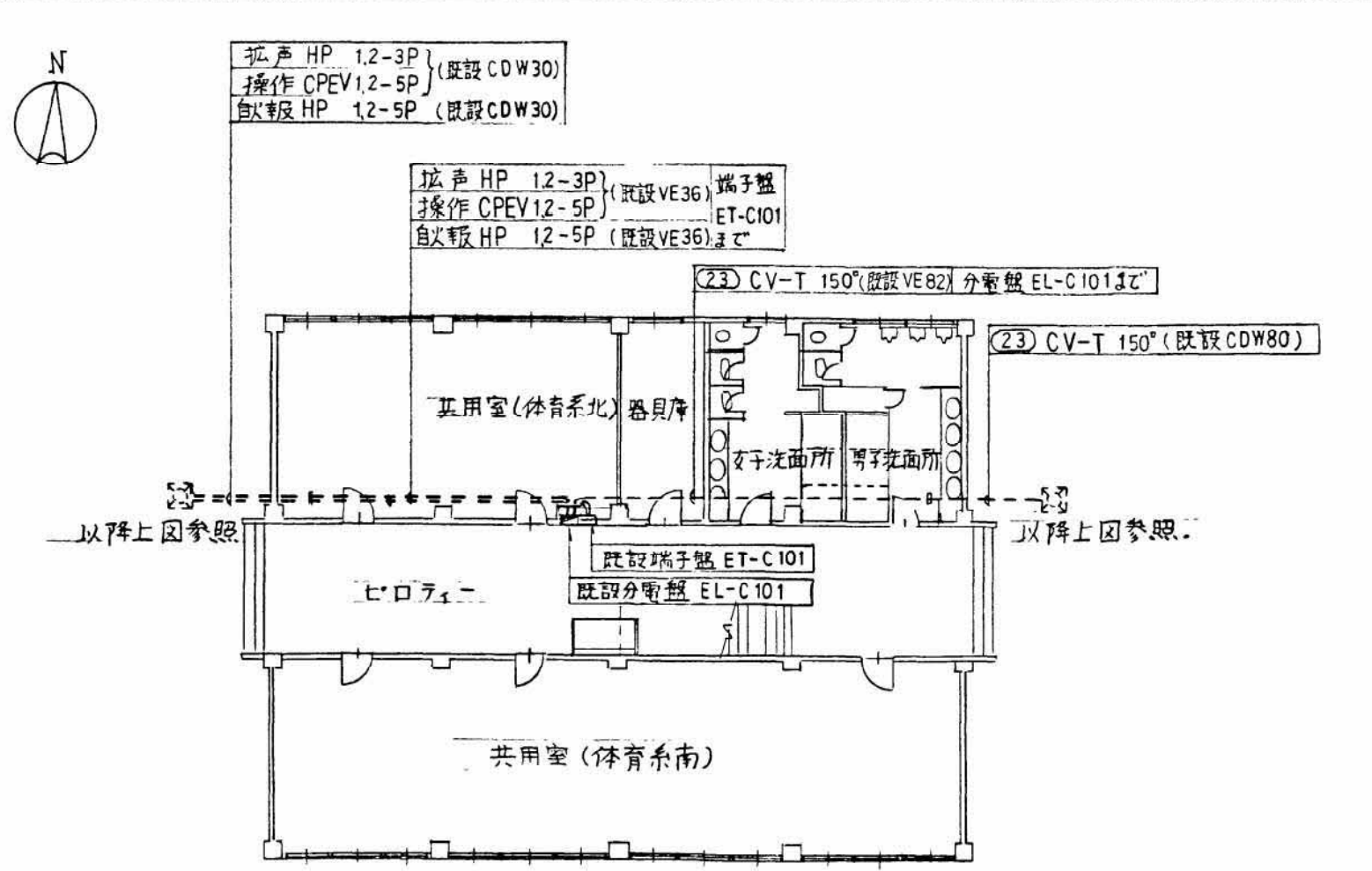


既設体育館変電設備改修単線結線図



既設図書タビシ重方配線図

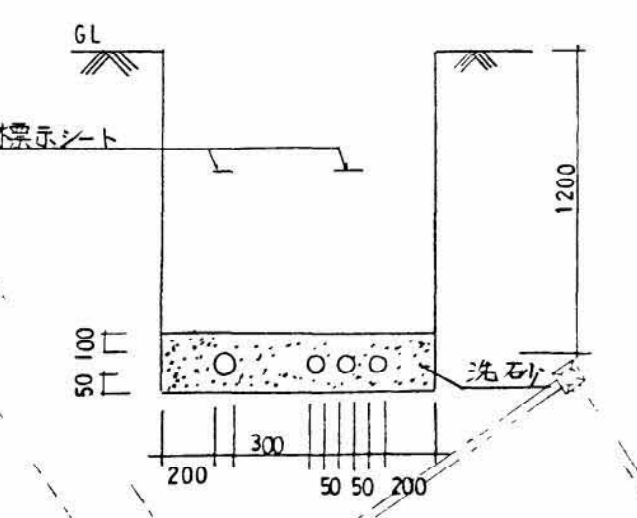
S・1/200



外線工事図

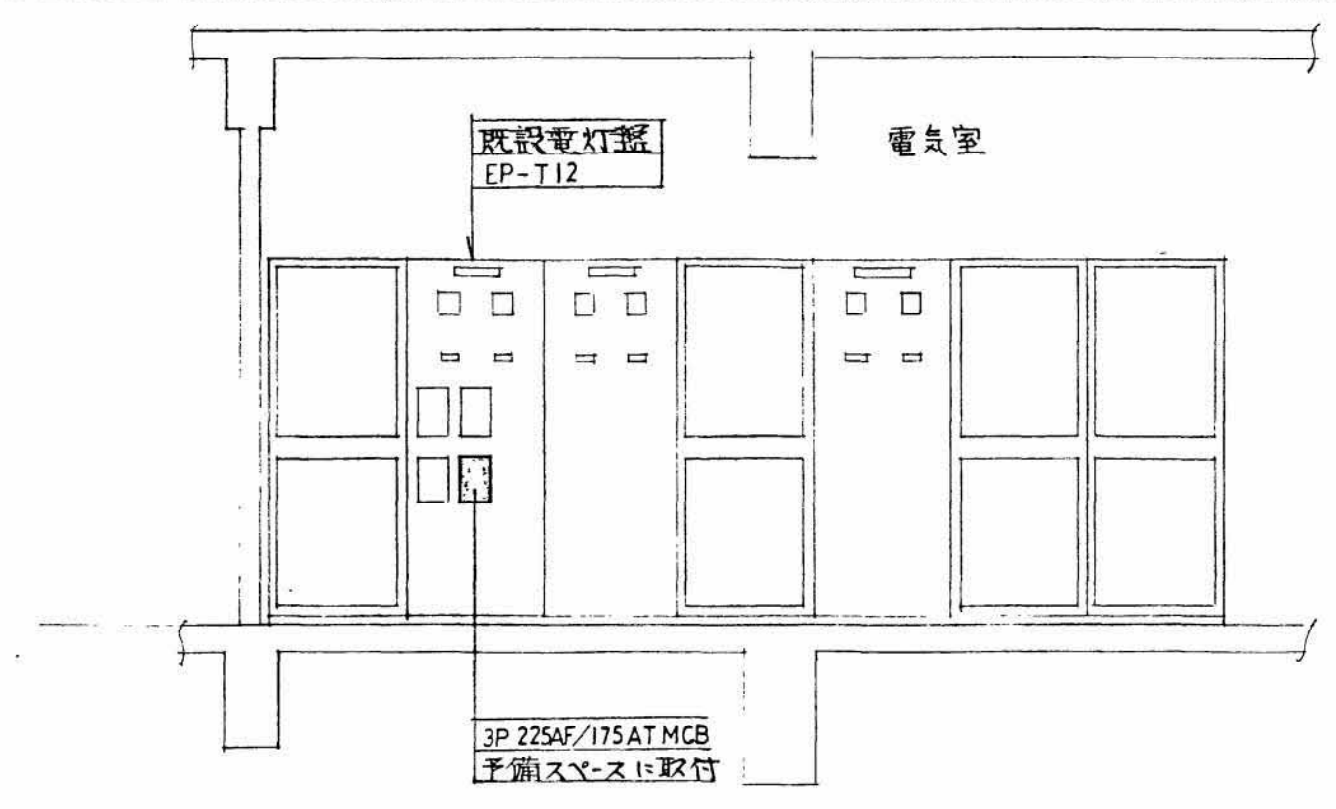
S・1/500

地中埋設配管要領図

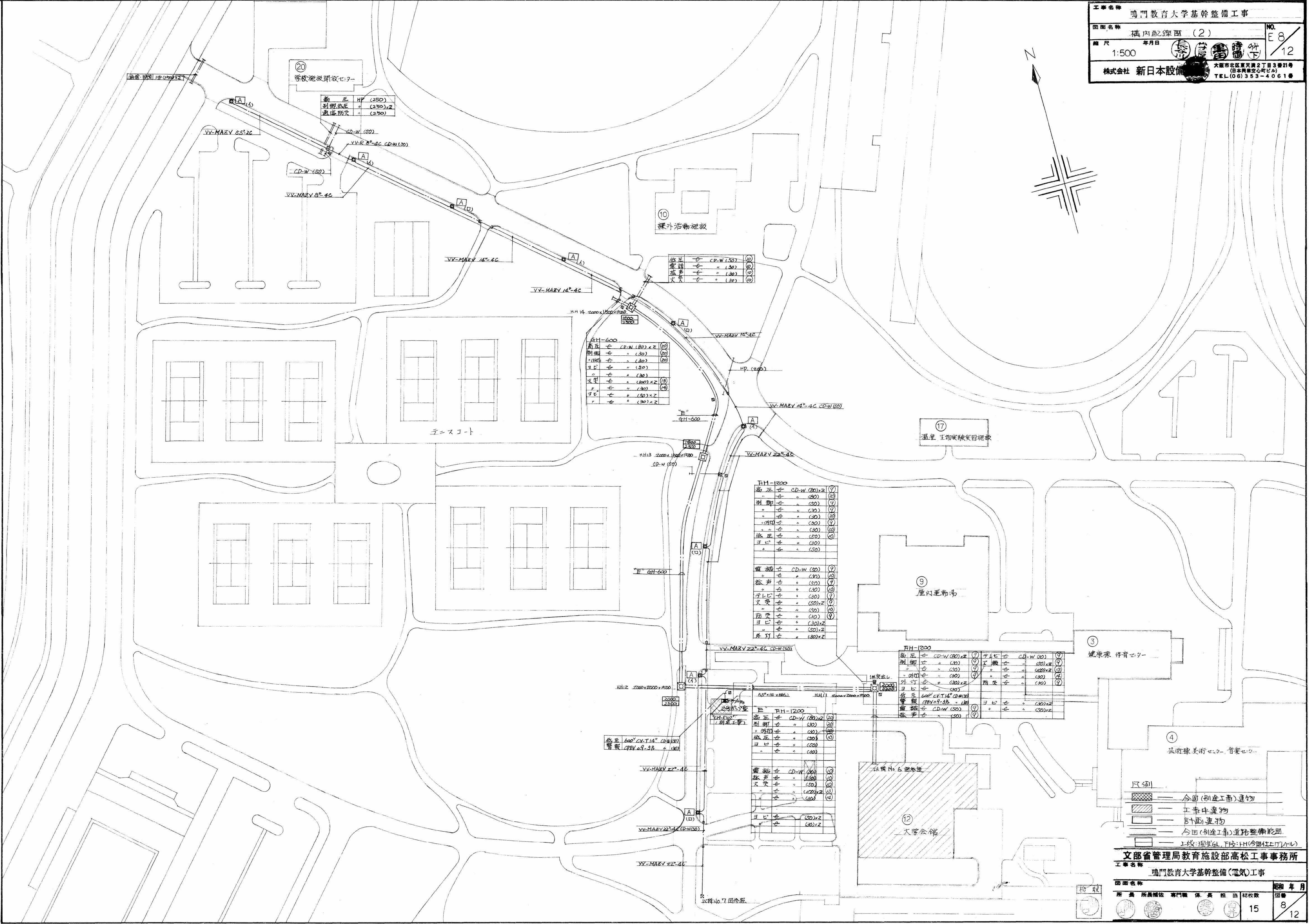


既設低圧配電盤改修図

S・1/50



工事名称		鳴門教育大学基幹整備工事	
図面名称	構内配線図 (2)	NO.	E 8
縮尺	1:500	年月日	12
株式会社 新日本設備		大阪府北区東天満2丁目3番21号 (日本興業ビル内) TEL(06)353-4061	



10 課外活動施設

高圧	CD-W (50)	⑩
電線	" (30)	⑩
配管	" (30)	⑩
火災	" (30)	⑩

9H-600

高圧	CD-W (80) x 2	⑩
電線	" (30)	⑩
配管	" (30)	⑩
火災	" (30)	⑩
消防	" (30)	⑩
エレベ	" (30)	⑩
エレベ	" (30)	⑩
エレベ	" (30)	⑩

9H-1200

高圧	CD-W (80) x 2	⑦
電線	" (30)	⑦
配管	" (30)	⑦
火災	" (30)	⑦
消防	" (30)	⑦
エレベ	" (30)	⑦
エレベ	" (30)	⑦
エレベ	" (30)	⑦

9H-1200

高圧	CD-W (80) x 2	⑦
電線	" (30)	⑦
配管	" (30)	⑦
火災	" (30)	⑦
消防	" (30)	⑦
エレベ	" (30)	⑦
エレベ	" (30)	⑦
エレベ	" (30)	⑦

9H-1200

高圧	CD-W (80) x 2	⑦
電線	" (30)	⑦
配管	" (30)	⑦
火災	" (30)	⑦
消防	" (30)	⑦
エレベ	" (30)	⑦
エレベ	" (30)	⑦
エレベ	" (30)	⑦

9H-1200

高圧	CD-W (80) x 2	⑦
電線	" (30)	⑦
配管	" (30)	⑦
火災	" (30)	⑦
消防	" (30)	⑦
エレベ	" (30)	⑦
エレベ	" (30)	⑦
エレベ	" (30)	⑦

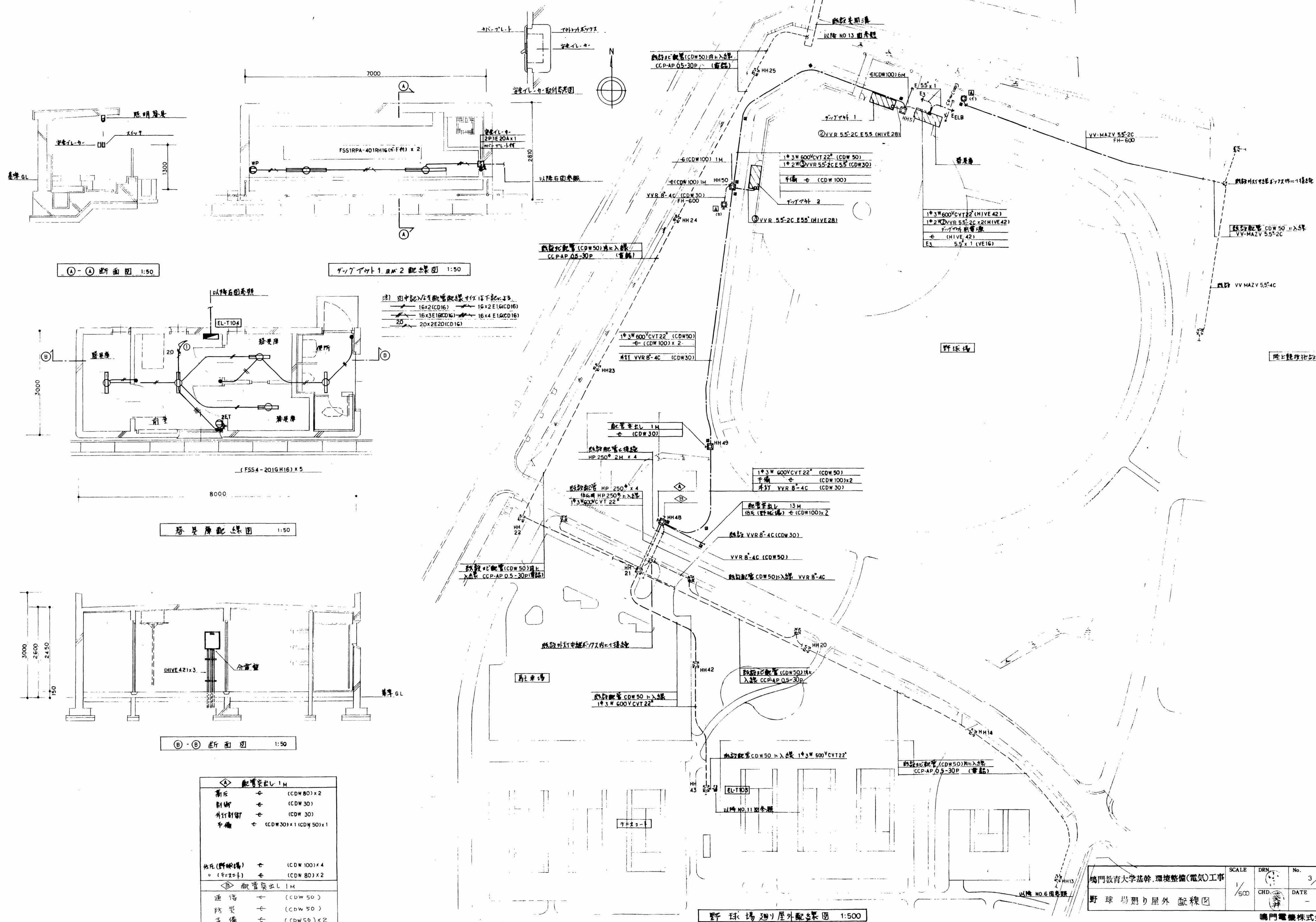
凡例

- 今回(別注工事)建物
- 工事中建物
- 計画建物
- 今回(別注工事)道路整備範囲
- 上段:埋設GL, 下段:HH(今回工事埋没)

文部省管理局教育施設部高松工事事務所

工事名称 鳴門教育大学基幹整備(電気)工事

図面名称	構内配線図 (2)	縮尺	1:500
所長	所長補佐	専門職	係長
担当	技師	技師	技師
15	8	12	



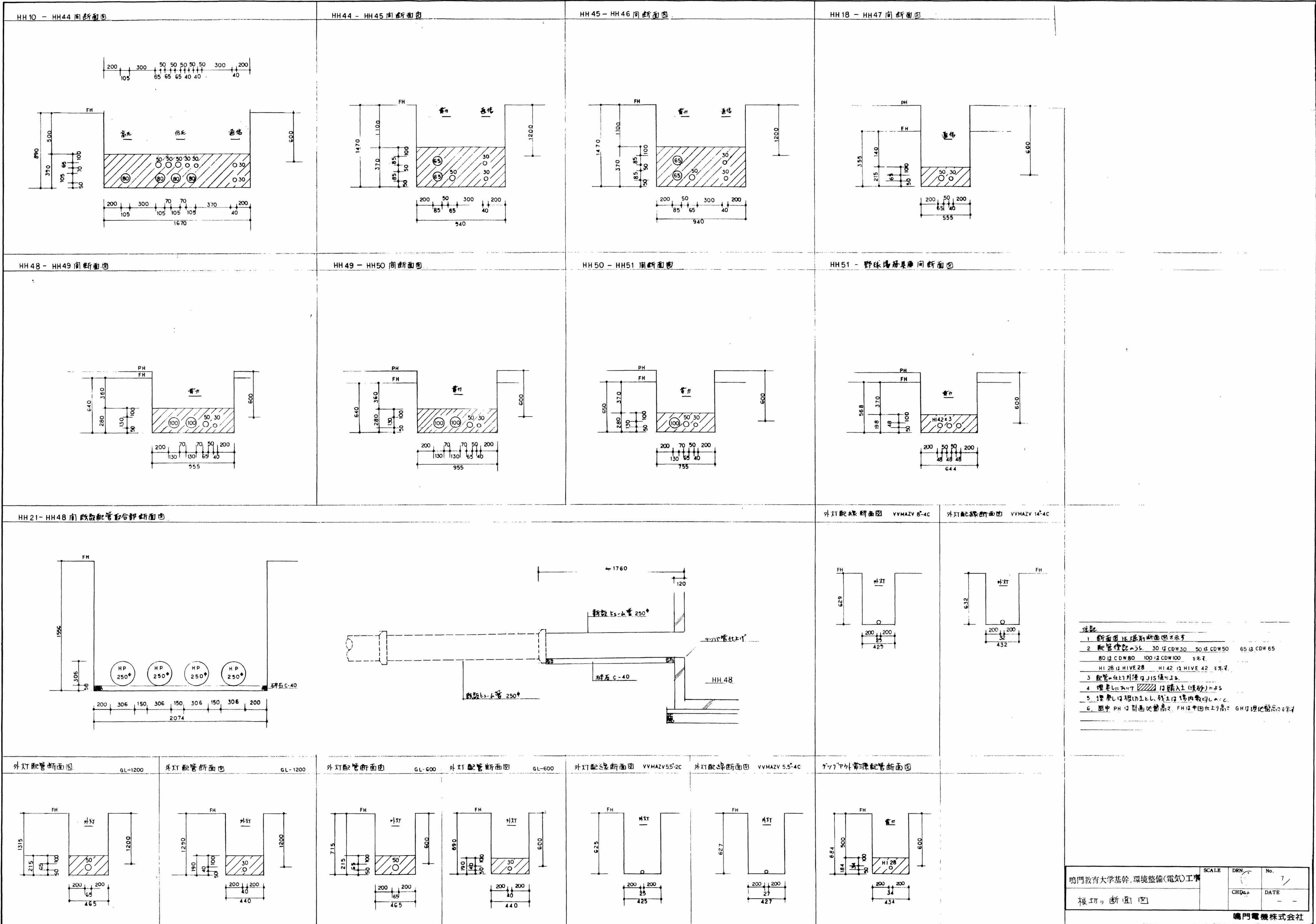
①-① 断面図 1:50

②-② 断面図 1:50

器具配置図 1:50

③-③ 断面図 1:50

配管突出 1M		
高圧	⊕	(CDW80) x 2
制断	⊕	(CDW30)
外付制断	⊕	(CDW30)
予備	⊕	(CDW30) x 1 (CDW50) x 1
配管突出 1M		
通信	⊕	(CDW50)
防災	⊕	(CDW50)
予備	⊕	(CDW50) x 2



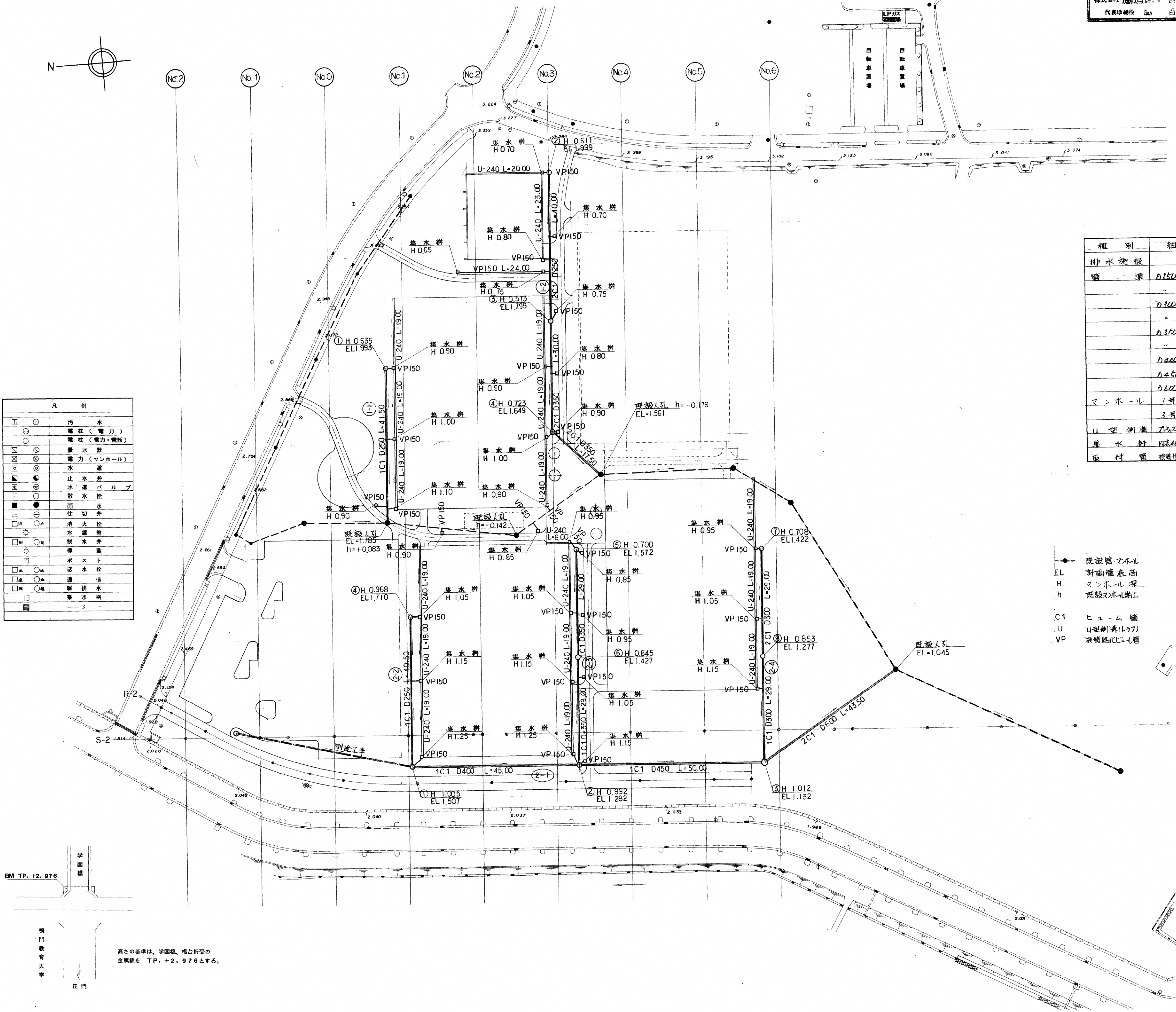
注記
1 断面図は概略断面図を示す
2 配管径は、30はCDW30 50はCDW50 65はCDW65
80はCDW80 100はCDW100 表示
H128はHIVE28 H142はHIVE42 表示
3 配管は、外灯はJIS値に準ずる
4 埋入は、埋入土(砂)に準ずる
5 埋入は、埋入土とし、残土は、埋入土に準ずる
6 図中 PH は 別冊の図面を、FH は 本図の図面を、GH は 別冊の図面を、

校取

凡 例	
①	汚 水
⊙	電 柱 (電 力)
⊖	電 柱 (電 力 ・ 電 話)
⊗	集 水 槽
⊗	電 力 (マ ン ホ ー ル)
⊗	水 道
⊗	止 水 弁
⊗	水 道 バ ル ブ
⊗	散 水 栓
⊗	雨 水
⊗	仕 切 弁
⊗	消 火 栓
⊗	水 銀 燈
⊗	制 水 弁
⊗	橋 梁
⊗	ポ ス ト
⊗	送 水 栓
⊗	通 信
⊗	排 水 溝
⊗	集 水 溝
⊗	— S —

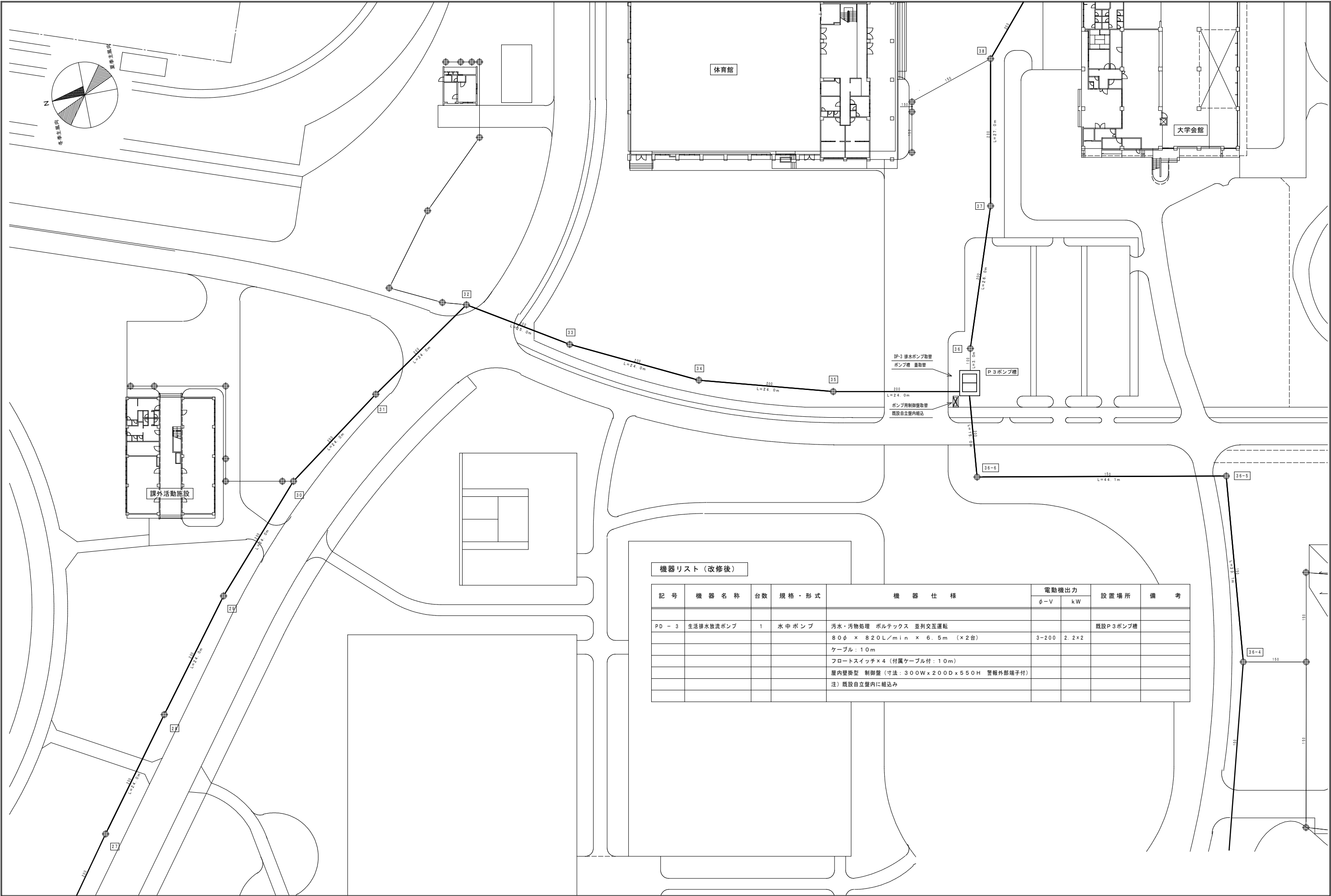
種 別	細 則	数 量
排水施設		
管 渠	D150 1-C1 90°	80.2 m
	" 2-C1 90°	39.1 m
	D300 1-C1 90°	28.1 m
	" 2-C1 90°	27.8 m
	D350 1-C1 90°	56.2 m
	" 2-C1 90°	45.7 m
	D400 1-C1 90°	44.1 m
	D450 1-C1 90°	42.8 m
	D600 2-C1 90°	42.15 m
マンホール	1号	11 箇所
	3号	1 箇所
U 型側溝	75x150x240 9ヶ所	334.0 m
集 水 槽	1000x400x400 9ヶ所	31 箇所
取 付 管	破損掘り管 VP150	87.0 m

● 既設管・マンホール
EL 計画管底高
H マンホール深
h 既設マンホール
C1 ヒューム管
U U型側溝(1.57)
VP 破損掘り管



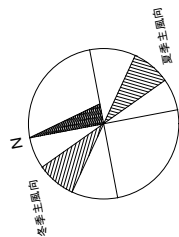
高さの基準は、学園橋、橋台桁受の
金属板を TP. +2.976 とする。

鳴門教育大学施設課					
工事名称 鳴門教育大学基幹・環境整備(陸上競技場・テニスコート等)工事					
図面名称 排水計画図					
課長	課長補佐	係長	係	総枚数	図番
				61	51



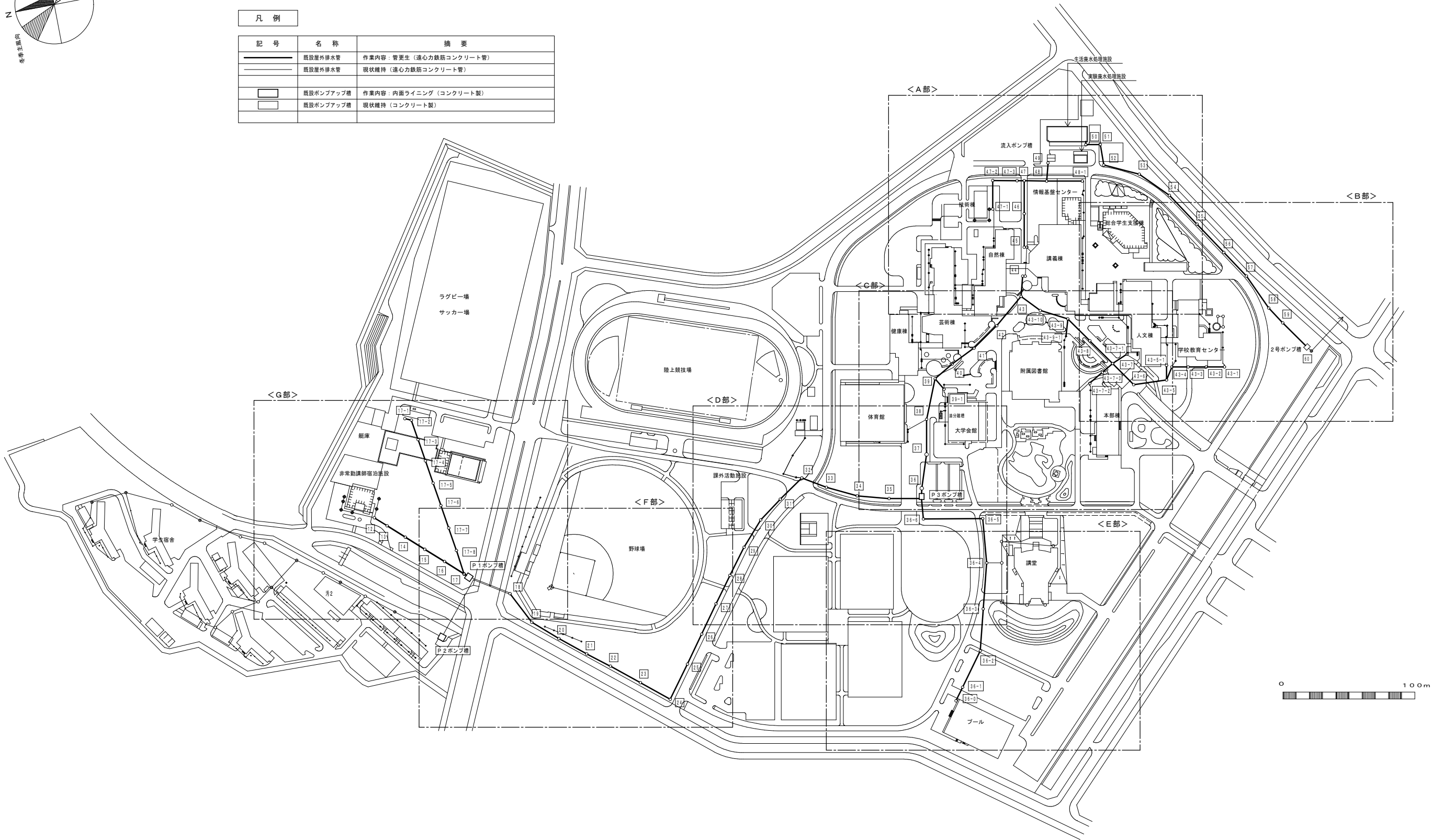
機器リスト（改修後）

記 号	機 器 名 称	台数	規 格 ・ 形 式	機 器 仕 様	電動機出力		設 置 場 所	備 考
					φ-V	kW		
PD - 3	生活排水放流ポンプ	1	水 中 ポンプ	汚水・汚物処理 ポルテックス 並列交互運転			既設P3ポンプ槽	
				80φ × 820L/min × 6.5m (×2台)	3-200	2.2×2		
				ケーブル：10m				
				フロートスイッチ×4 (付属ケーブル付：10m)				
				屋内壁掛型 制御盤 (寸法：300W×200D×550H 警報外部端子付)				
				注) 既設自立壁内に組込み				

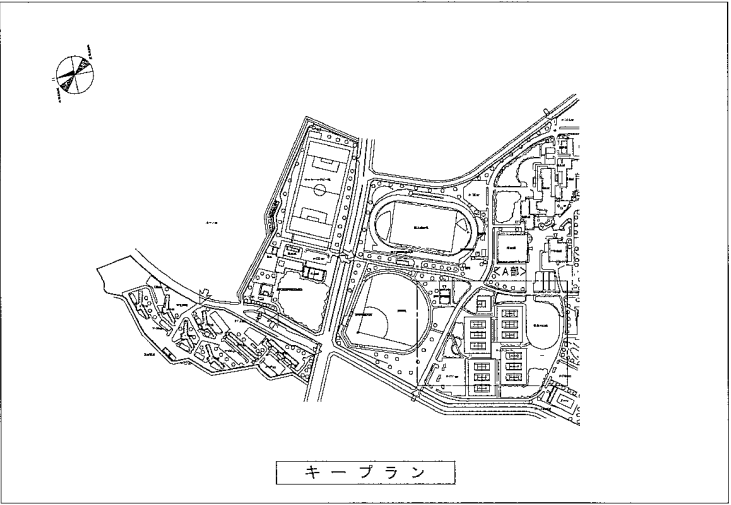
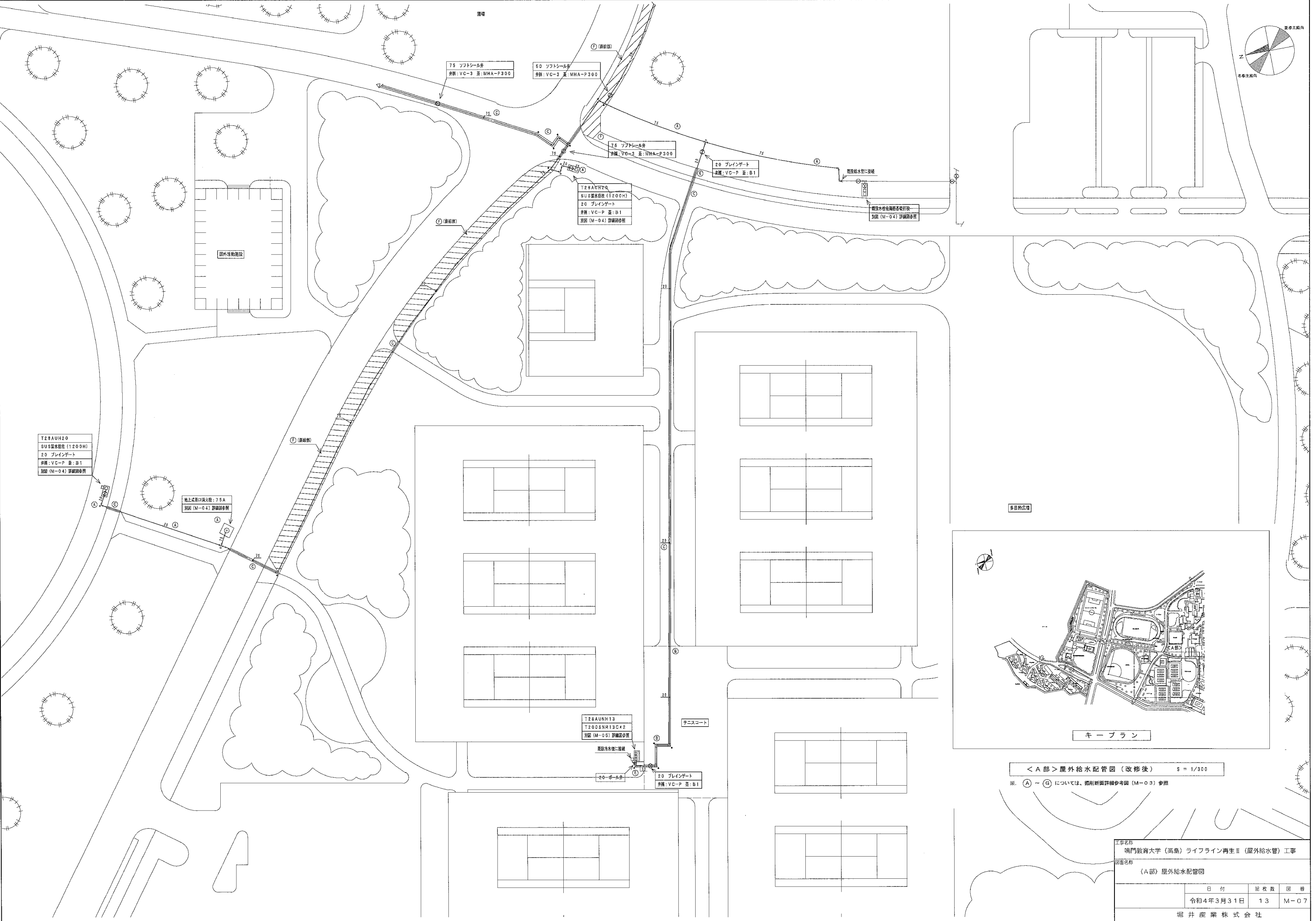


凡 例

記 号	名 称	摘 要
	既設屋外排水管	作業内容：管更生（遠心力鉄筋コンクリート管）
	既設屋外排水管	現状維持（遠心力鉄筋コンクリート管）
	既設ポンプアップ槽	作業内容：内面ライニング（コンクリート製）
	既設ポンプアップ槽	現状維持（コンクリート製）

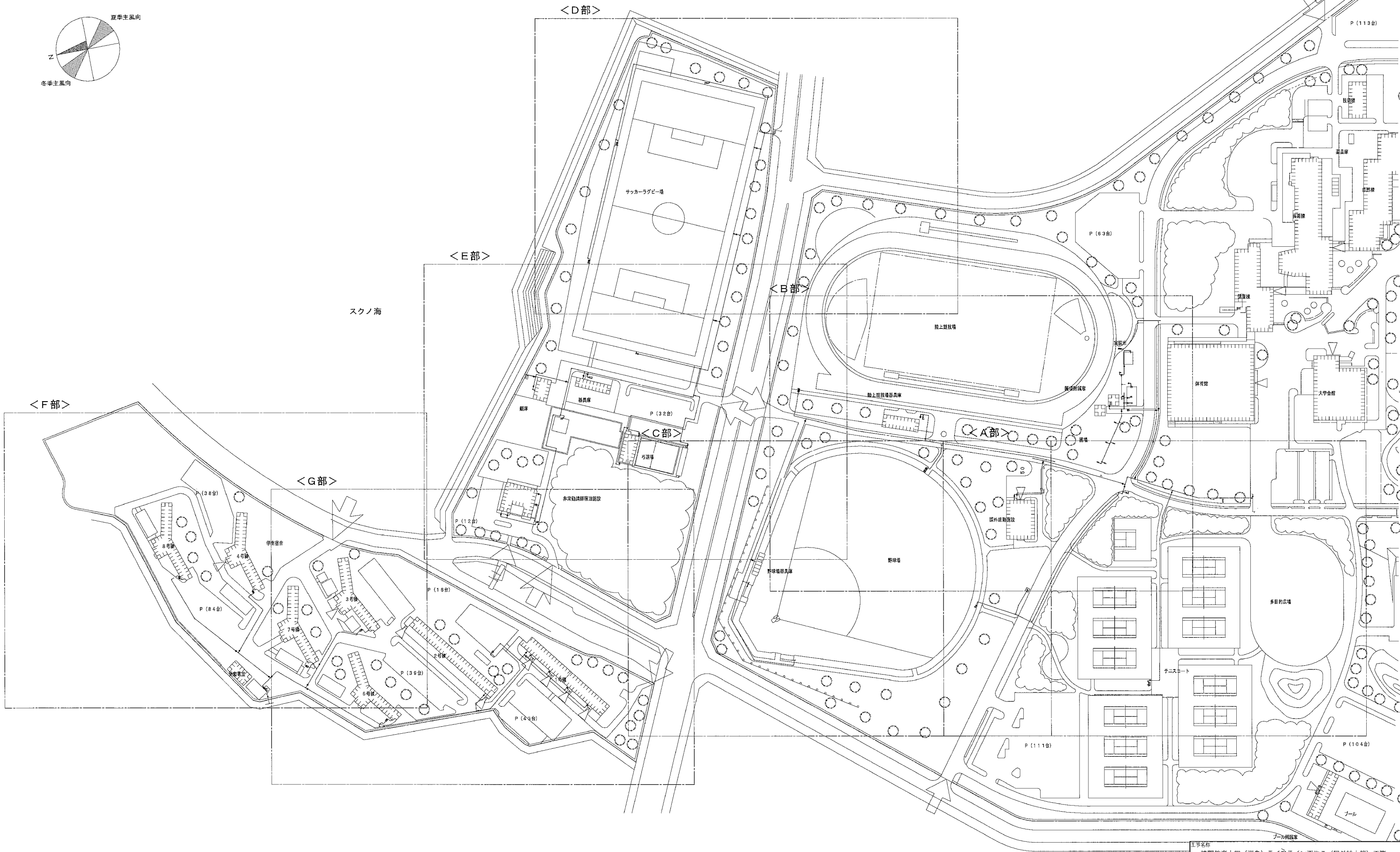
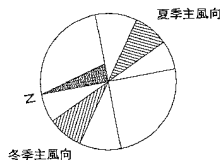


管更生 構内汚水主管路配管図 S = 1/2,500
※) 図示する太線の屋外排水管は、管更生対象配管とする。細線は、残置とする。



< A 部 > 屋外給水配管図 (改修後) S = 1/300
※ (A) ~ (G) については、断面詳細参考図 (M-03) 参照

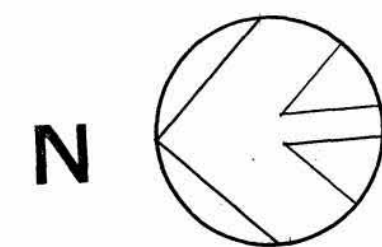
工事名称			
鳴門教育大学（高島）ライフライン再生Ⅱ（屋外給水管）工事			
図面名称			
〈A部〉屋外給水配管図			
	日付	図枚数	図番
	令和4年3月31日	13	M-07
堀井産業株式会社			



構内給水管路配管図 (改修後) S = 1/1,000

※) 表示する太線の排水管は、配管更新を示す。

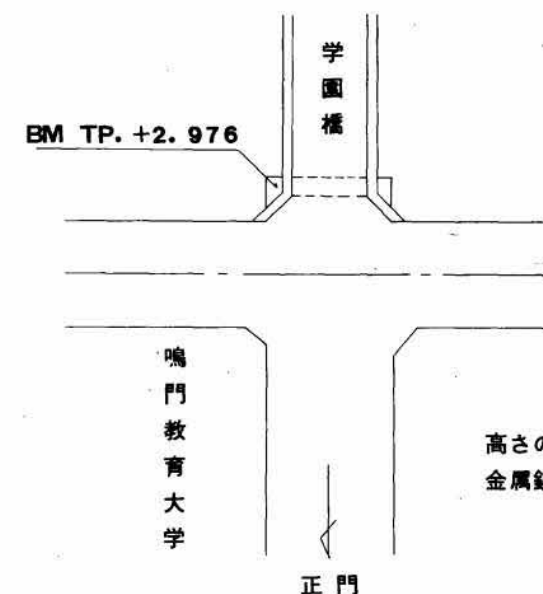
工事名称			
山口教育大学（高島）ライフライン再生Ⅱ（屋外給水管）工事			
図面名称			
構内給水管路配管図			
	日付	総枚数	図番
	令和4年3月31日	13	M-06
堀井産業株式会社			



凡 例	
□ ①	汚 水
○	電 柱 (電 力)
○	電 柱 (電力・電話)
⊗	量 水 器
⊗	電 力 (マンホール)
⊗	水 道
⊗	止 水 弁
⊗	水 道 バ ル プ
⊗	散 水 栓
⊗	雨 仕 切 弁
⊗	消 火 栓
⊗	水 銀 燈
⊗	制 水 弁
⊗	標 識
⊗	ポ ス ト
⊗	送 水 栓
⊗	通 信 塔
⊗	障 水 柵
⊗	集 水 溝
⊗	クレーンクレーン

番号	施設名	備考
①	練習コート	ハードコート
②	硬式テニスコート	——
③	練習ホールド	R.C.造
④	テニスコート付属屋	(別途工事)
⑤	舗装広場	コンクリート
⑥	芝生広場	(別途工事)
⑦	歩 道	アスファルト
⑧	ツリーサークル	鉄 筋
⑨	足 洗 場	R.C.造

特記：緑地工事は、全く別途工事とする。

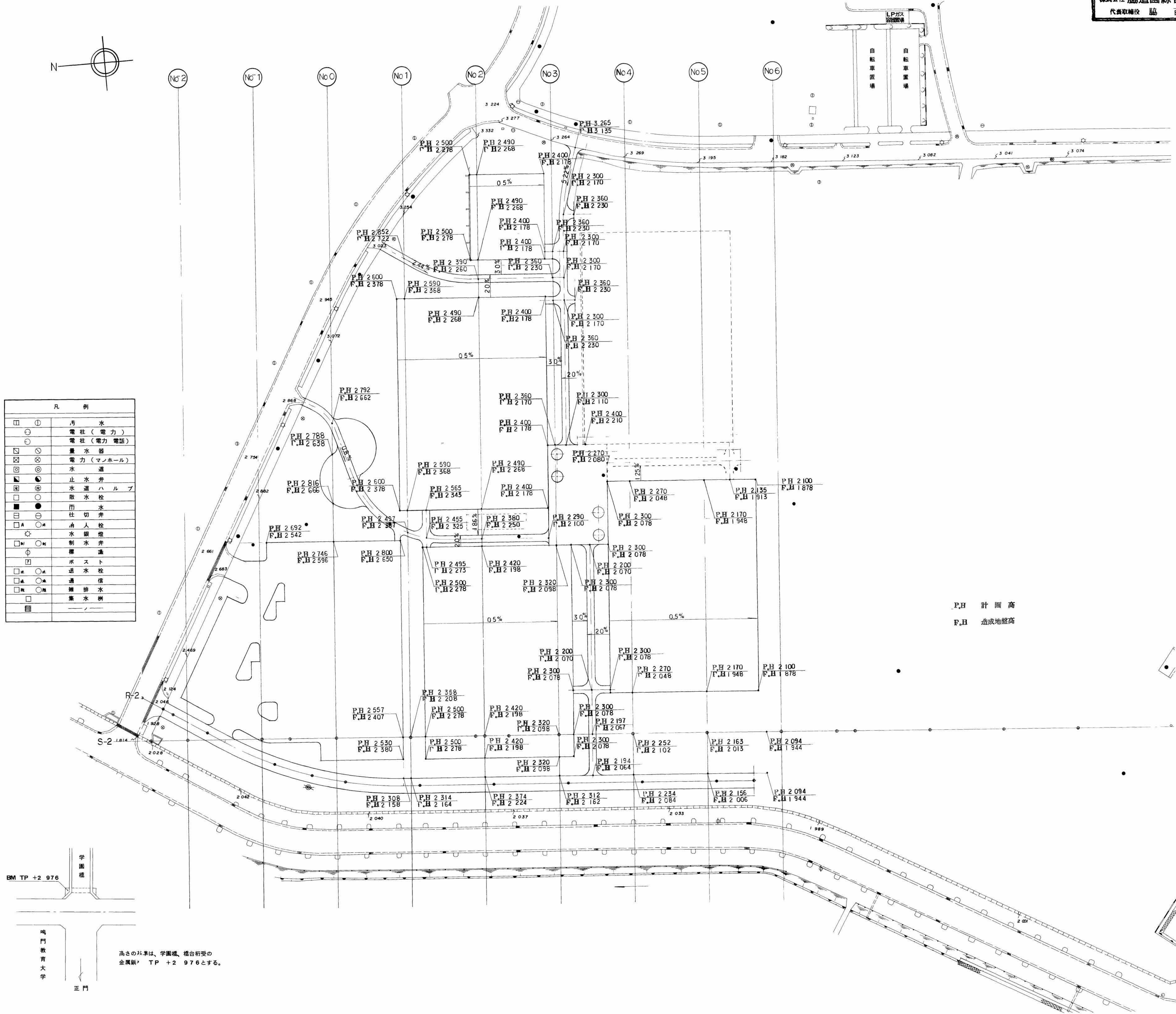


高さの基準は、学園橋、橋台桁受の
金属板を TP. +2.976とする。

鳥門教育大学施設課					
工事名称					
鳥門教育大学基幹・環境整備(陸上競技場テニスコート等)工事					
図面名称 平面図					
課長	課長補佐	係長	係	総枚数	図番
				61	38

捺印

凡 例	
①	汚 水
○	電 柱 (電 力)
○	電 柱 (電 力 電 話)
⊗	量 水 器
⊗	電 力 (マノホール)
⊙	水 道
●	止 水 弁
⊗	水 道 ハ ル プ
□	散 水 栓
●	市 水
⊙	仕 切 弁
○	消 人 栓
☆	水 銀 燈
⊗	制 水 弁
⊙	標 識
□	ポ ス ト
○	透 水 栓
○	通 信
○	雑 排 水
○	葉 水 樹
—	—



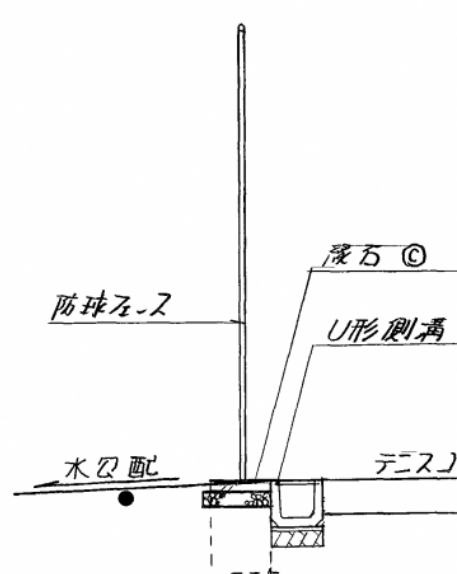
鳴門教育大学施設課					
工事名称 鳴門教育大学基幹・環境整備(陸工競技場 テニスコート等)工事					
図面名称 計画高図					
課長	課長補佐(係長)	係	総校数	昭和60年 8 月	
			61	図番 41	

投取

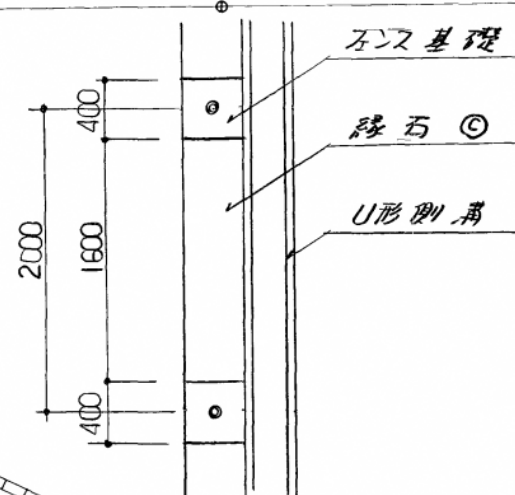
凡 例	
□ ①	汚 水
○	電 柱 (電 力)
○	電 柱 (電 力 電 告)
□	電 水 器
□	電 力 (マ ン ナー ル)
□	水 道
□	止 水 弁
□	水 道 ハ ル プ
□	散 水 栓
□	市 仕 切 弁
□	人 入 栓
□	水 銀 燈
□	制 水 弁
□	標 識
□	ヤ ス ト
□	透 水 栓
□	通 信
□	雑 排 水
□	集 水 溝
□	ク レー ナー 蓋

種 別	細 別	数 量
緑 地	RC 道 W2000 H5000	1 箇所
テニスコート	差込(面材) 浅井塗装	18 (ホールの4割程度)
セーカイト	SUS 304 φ8% e=200	9
フェーストア	H 2000 W 3000	4
フェーストア	H 2000 W 1000	9
防球フェース	H 3000	635 3m
ラバーコート	W 50	1391.8
足 元 場	985 × 2000	1 箇所
物 置		
クリーサル	外径φ 3000 内径φ 1000	4 箇所

U形測溝布設部 断面図 1/50



平面図 1/50



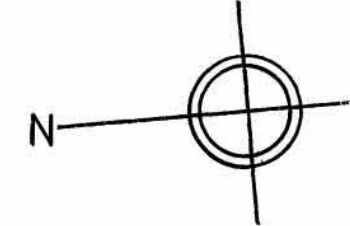
BM TP +2 976

鳴門教育大学
正 門

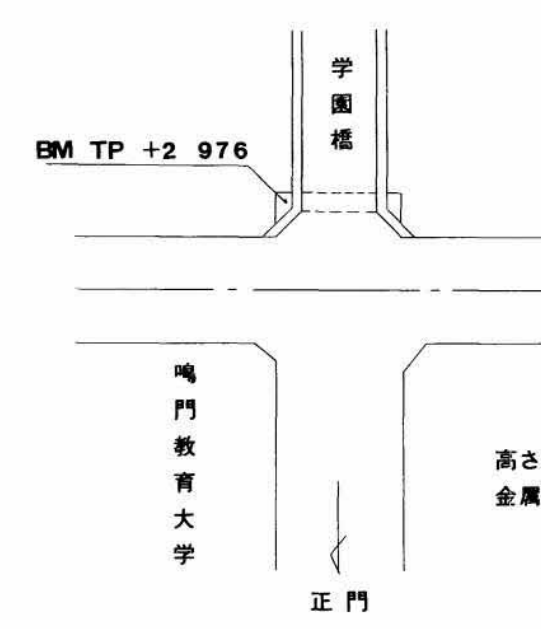
高さの基準は 学園橋、橋台桁受の
金属板を TP +2 976とする

鳴門教育大学施設課					
工事名称 鳴門教育大学基幹 環境整備(陸上競技場 テニスコート等)工事					
図面名称 施設配置図					
昭和50年8月					
課長	課長補佐	係長	係	総校数	図番
				61	47

換取

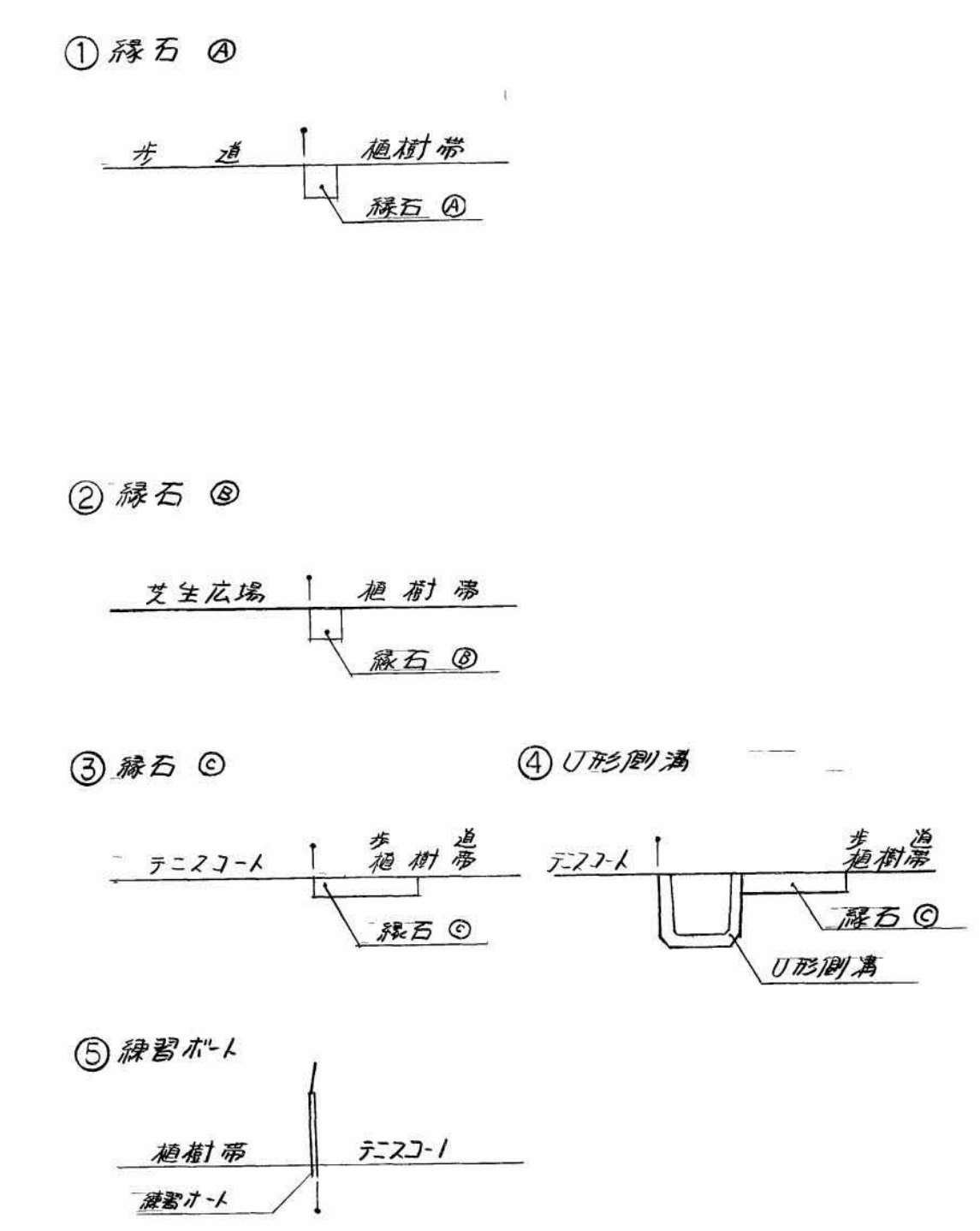


凡 例	
①	汚 水
⊕	電 柱 (電 力)
⊖	電 柱 (電 力 電 話)
⊗	量 水 器
⊙	電 力 (マンホール)
⊖	水 運
⊗	止 水 弁
⊙	水 運 バ ル ブ
⊗	散 水 栓
⊙	雨 水
⊗	仕 切 弁
⊙	消 火 栓
⊗	水 銀 燈
⊙	制 水 弁
⊗	操 縦 機
⊙	ボ ス ト
⊗	透 水 栓
⊙	通 橋
⊗	離 排 水
⊙	集 水 溝
⊗	ク レーニ ン 基



高さの基準は、学園橋、橋台桁架の
金属線を TP +2 976とする。

地割計法指示位置略図



鳴門教育大学施設課					
工事名称 鳴門教育大学基幹・環境整備(陸上競技場テニスコート等)工事					
図面名称 地割図					
課長	課長補佐	係長	係	総枚数	図番
				61	40

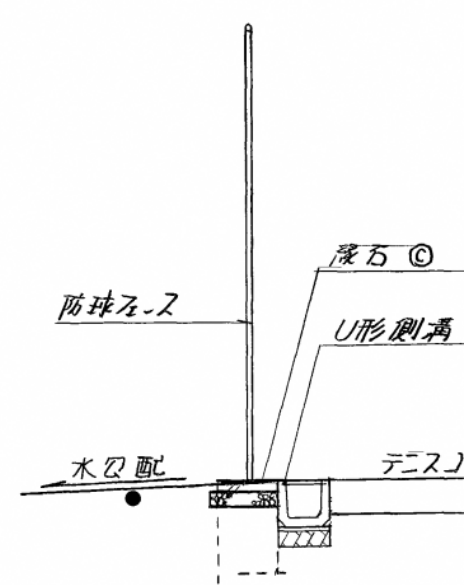
投取

凡 例	
□ ①	汚 水
○	電 柱 (電 力)
○	電 柱 (電 力 電 告)
□	電 水 器
□	電 力 (マニッパル)
□	水 道
□	止 水 弁
□	水 道 ハ ル プ
□	散 水 栓
□	市 仕 切 弁
□	人 入 栓
□	水 銀 燈
□	制 水 弁
□	標 識
□	ヤ ス ト
□	透 水 栓
□	通 信
□	雑 排 水
□	集 水 溝
□	ク レ ナ ン グ

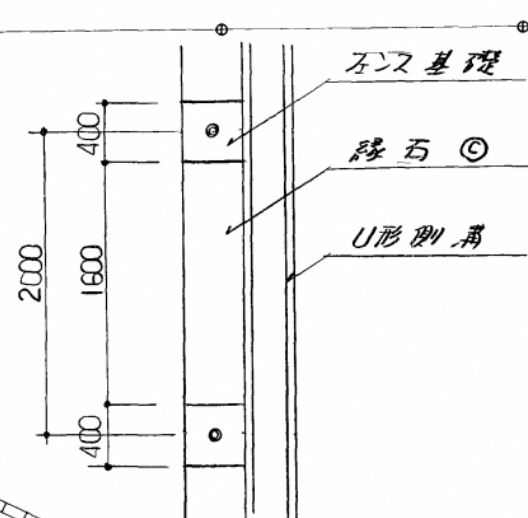
集計表

種 別	細 別	数 量
踏 切 口	RC 道 W2000 H-5000	1 箇所
ネノトガスト	差込(面付) 浅付 差込	18 (ホストの45%程度)
セータカイト	SUS 304 φ8% e=200	9
フェーストア	H 2000 W 3000	4
フェーストア	H 2000 W 1000	9
防球フェース	H 3000	635 3m
ラバーゲート	W 50	1391.8
足 元 場	985 × 2000	1 箇所
物 池		
クリーカール	外径φ 3000 内径φ 1000	4 箇所

U形測溝布設部 断面図 1/50



平面図 1/50

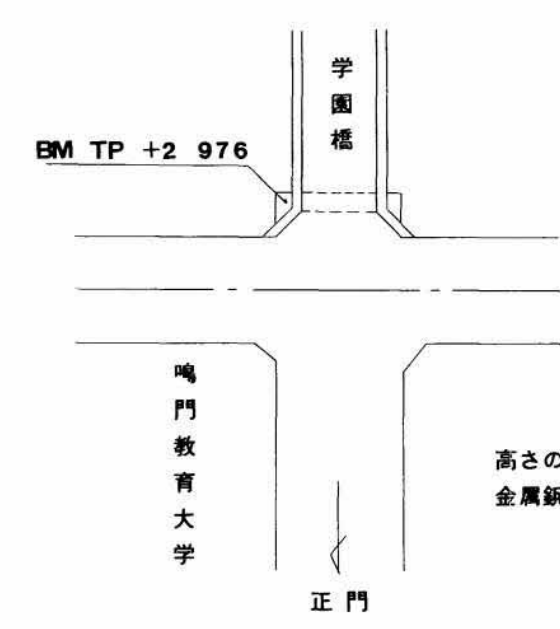


高さの基準は 学園橋、橋台桁受の
金属部を TP +2 976 とする

鳴門教育大学施設課					
工事名称 鳴門教育大学基幹 環境整備(陸上競技場 テニスコート等)工事					
図面名称 施設配置図					
昭和50年8月					
課長	課長補佐	係長	係	総枚数	図番
				61	47

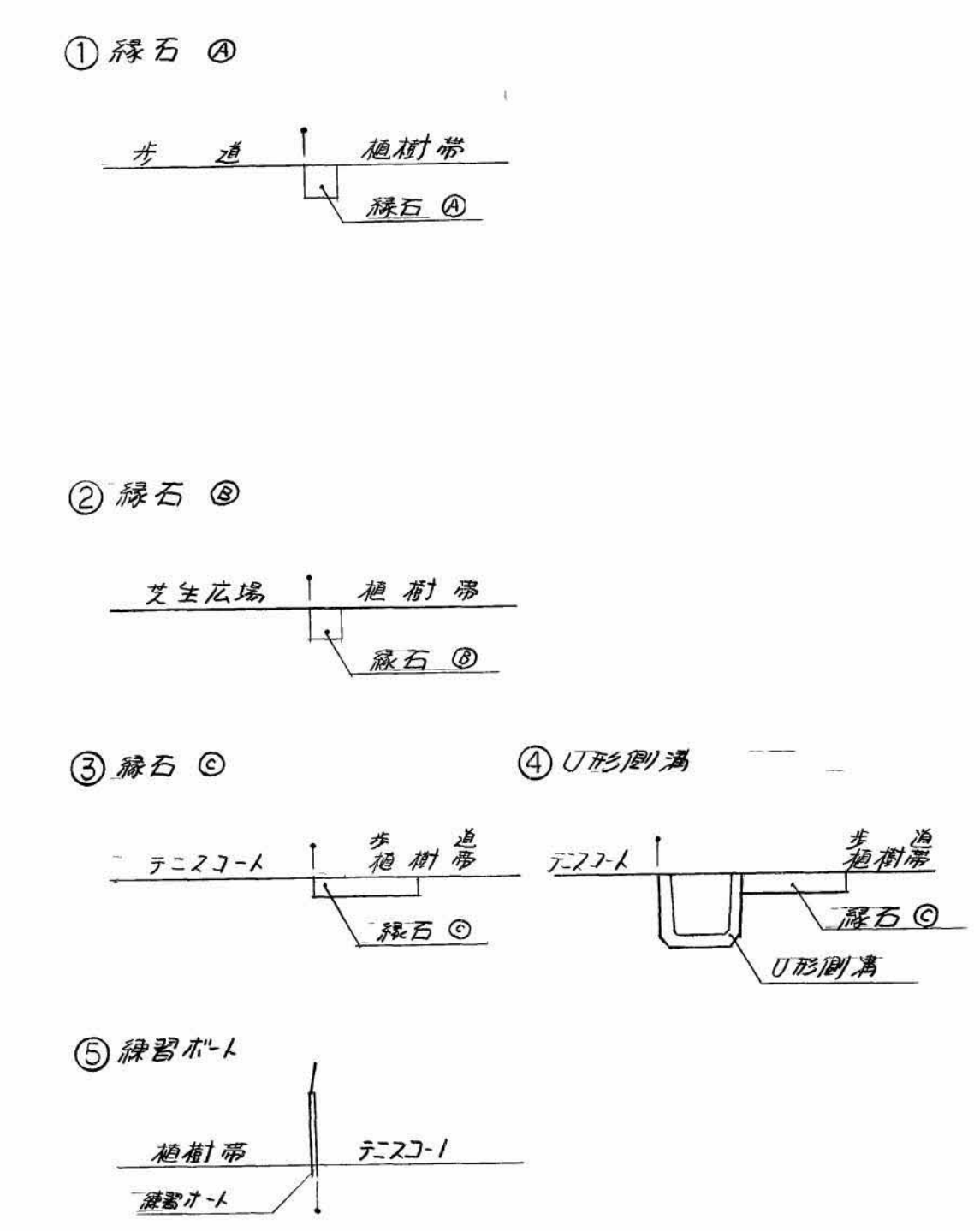
換取

凡 例	
①	汚 水
⊕	電 柱 (電 力)
⊖	電 柱 (電 力 電 話)
⊗	量 水 器
⊙	電 力 (マンホール)
⊖	水 運
⊗	止 水 弁
⊙	水 運 バ ル ブ
⊗	散 水 栓
⊙	雨 水
⊗	仕 切 弁
⊙	消 火 栓
⊗	水 銀 燈
⊙	制 水 弁
⊗	操 縦 機
⊙	ボ ス ト
⊗	透 水 栓
⊙	通 橋
⊗	離 排 水
⊙	集 水 溝
⊗	ク レ ー ン 基



高さの基準は、学園橋、橋台架の
金属線を TP +2 976とする。

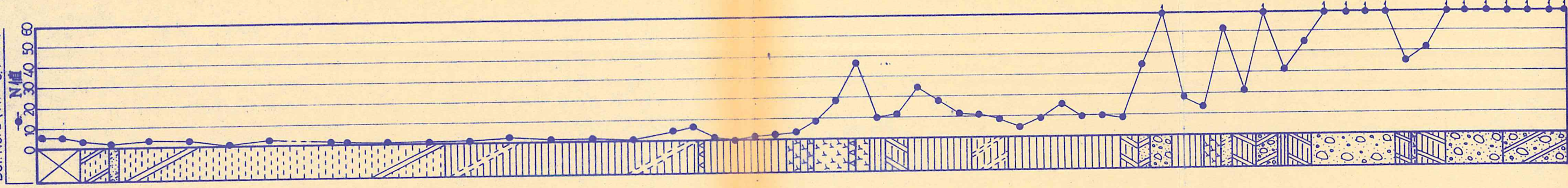
地割計法指示位置略図



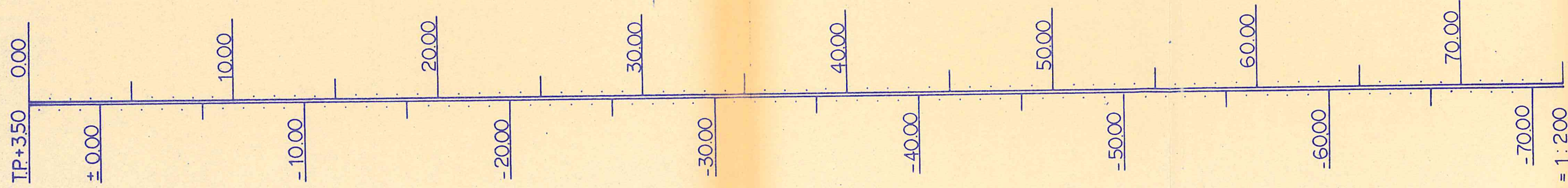
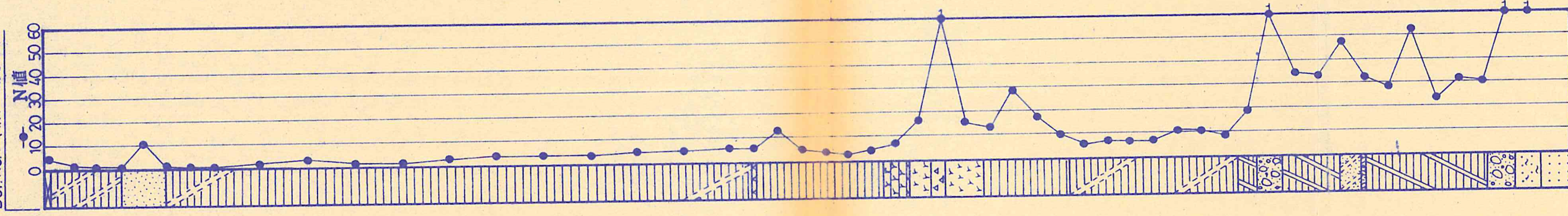
鳴門教育大学施設課					
工事名称 鳴門教育大学基幹・環境整備(陸上競技場テスコト等)工事					
図面名称 地割図					
課長	課長補佐	係長	係	総枚数	図番
				61	40

柱状图 (体音用地)

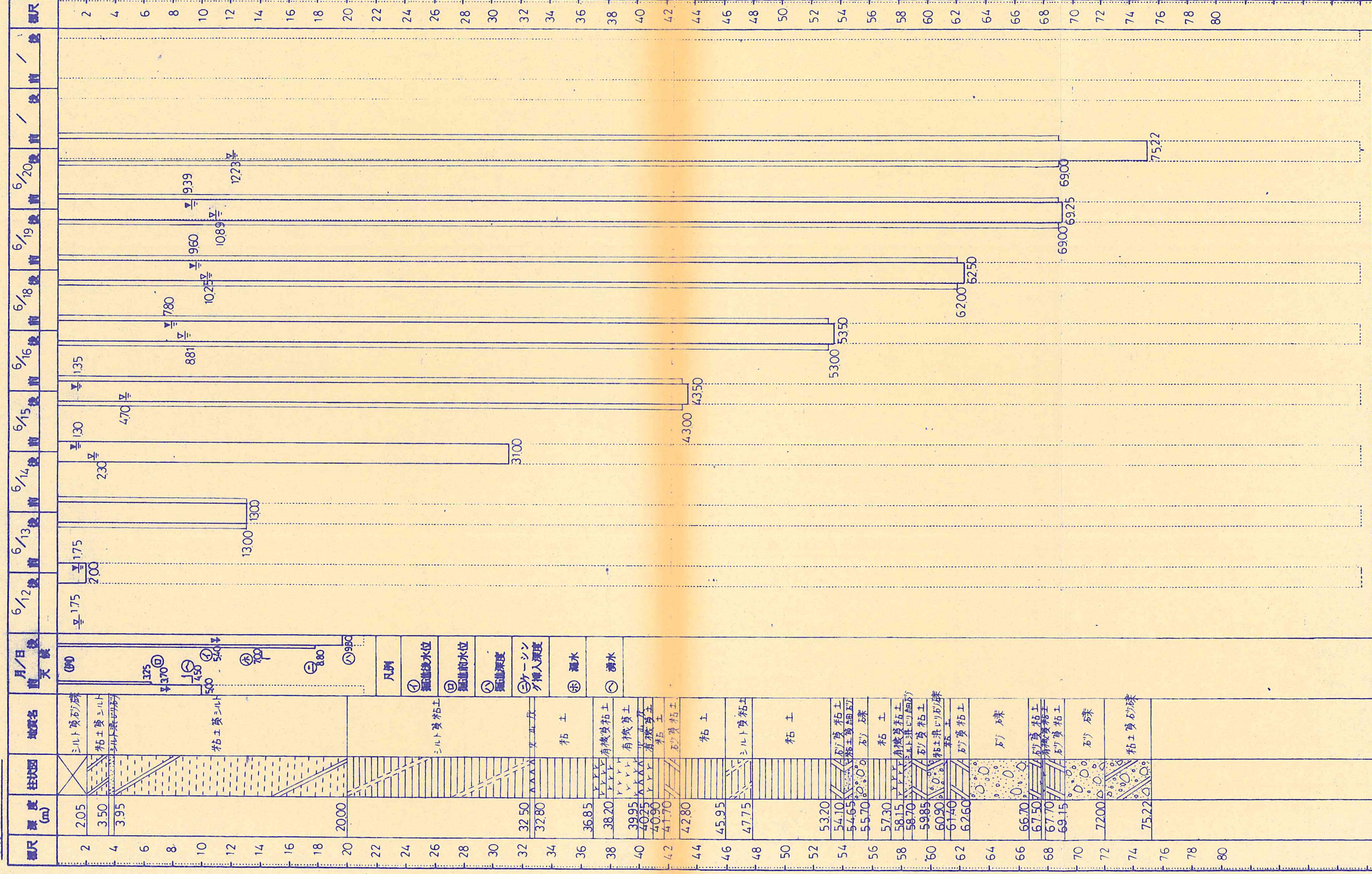
Bor. No. 2 (T.P. + 344 m)



Bor. No. 1 (T.P. + 179 m)

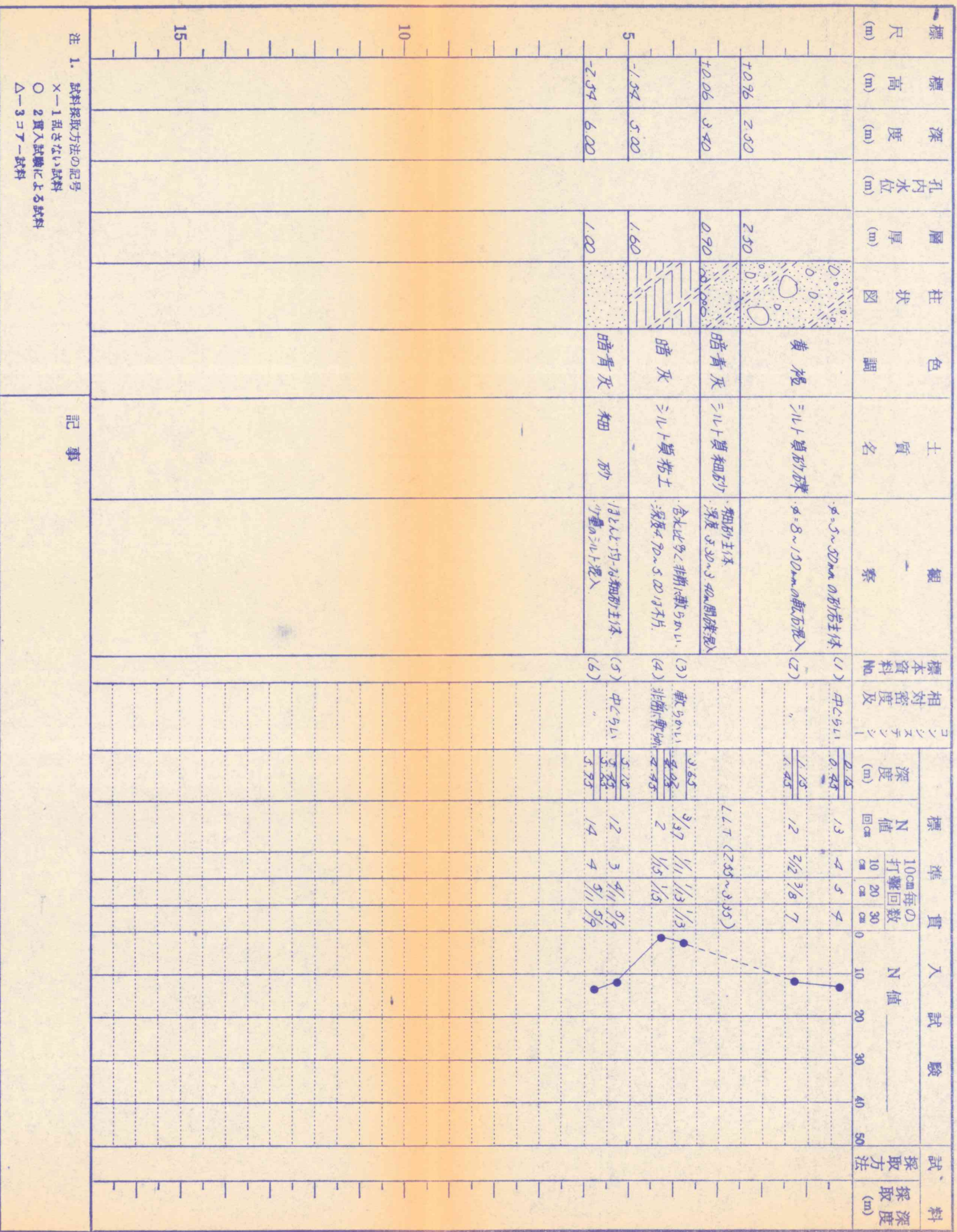


S = 1:200



図狀柱リボー調査調盤地

ボーリング番号	No. 1	備考
調査地名	鳴門教育大学課外活動センター用地地盤調査	
工事主体	鳴門教育大学	
所在地	徳島県鳴門(市)郡鳴門(町)村 高島 手字	
調査年月日	昭和61年11月13.日～11月13日	
標高	T. P. +3. 46 m 基準 T. P+4. 000 m	
ボーリング工法	ロータリー工法	
実施者名	西日本ボーリング工業株式会社	



特記仕様書

A 特記仕様

1. 工事名称

鳴門教育大学テニスコート内通路外灯取設工事
2. 工事位置

鳴門市鳴門町高島字中島748番地 鳴門教育大学高島団地内
3. 完成期限

平成 24 年 3 月 23 日（金曜日）
4. 契約事項

国立大学法人鳴門教育大学工事請負契約基準による。
5. 請負代金の支払

完成検査完了後、国立大学法人鳴門教育大学経営企画本部財務課より1回に支払う。
6. 工事範囲

本工事は、公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）平成22年版、公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）平成22年版及び設計図面 1 枚によるほか、監督職員の指示により施工する。
7. 監督職員の権限

国立大学法人鳴門教育大学工事請負契約基準第9第2項第1号から第3号に示す範囲とする。
8. 工事写真等

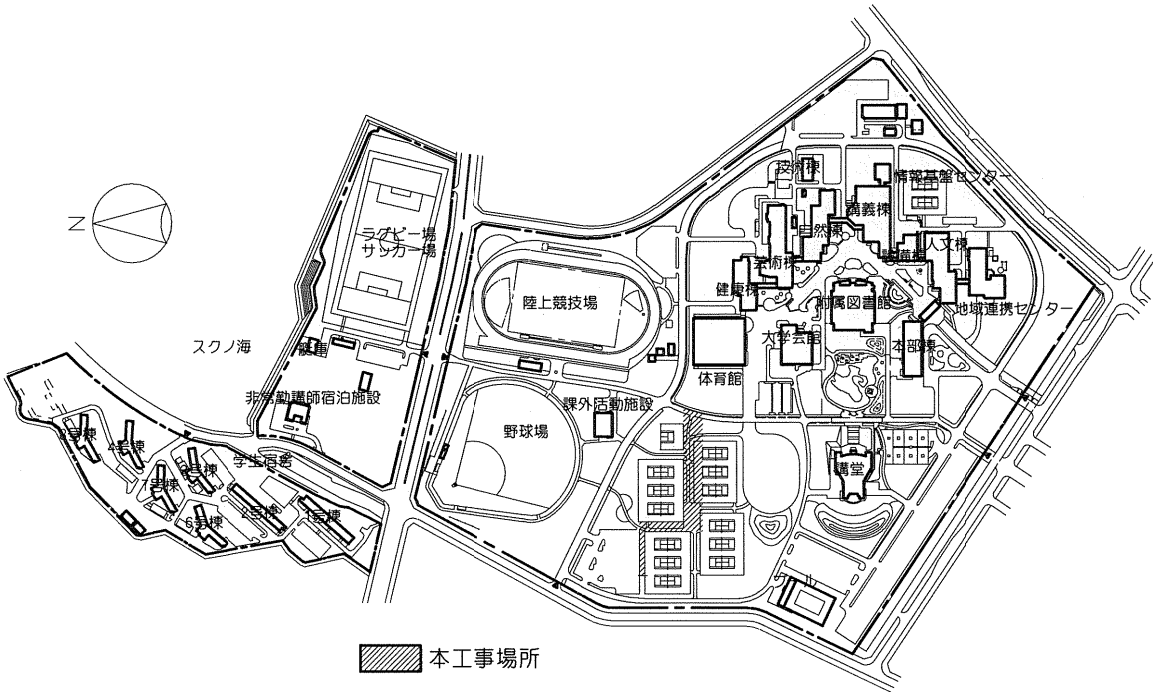
提出部数 1 部（カラー、A 4版工事写真帳に整理）

工事範囲表

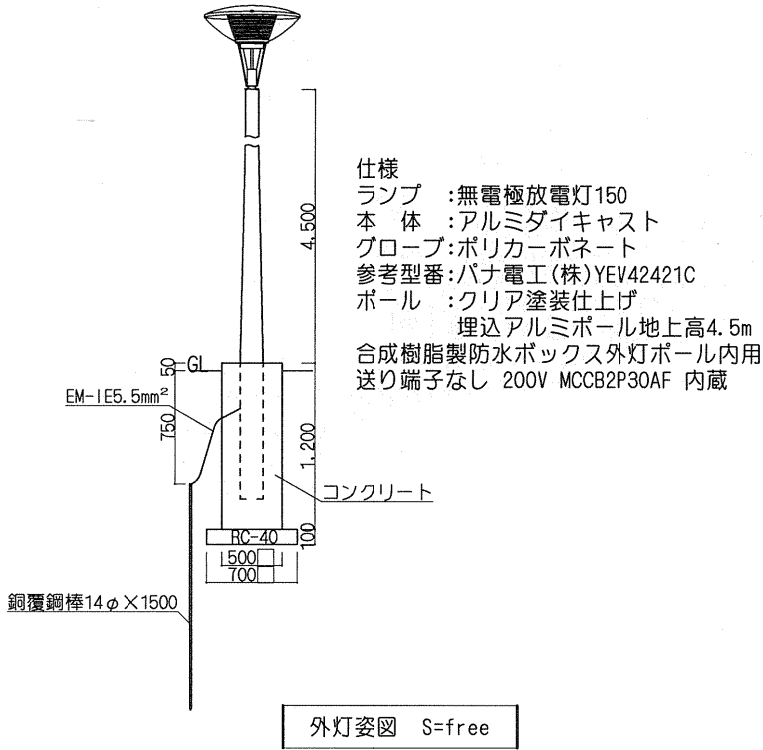
名	称	摘 要	数 量	備 考
1. テニスコート内通路外灯取設工事			一 式	

B 特記事項

1. 工事内容
- (1) テニスコート内通路外灯取設工事
- 図示のとおり、テニスコート内の通路に外灯を取り設ける。
2. 撤去品
- 撤去品は関係法令に従い適切に処分する。



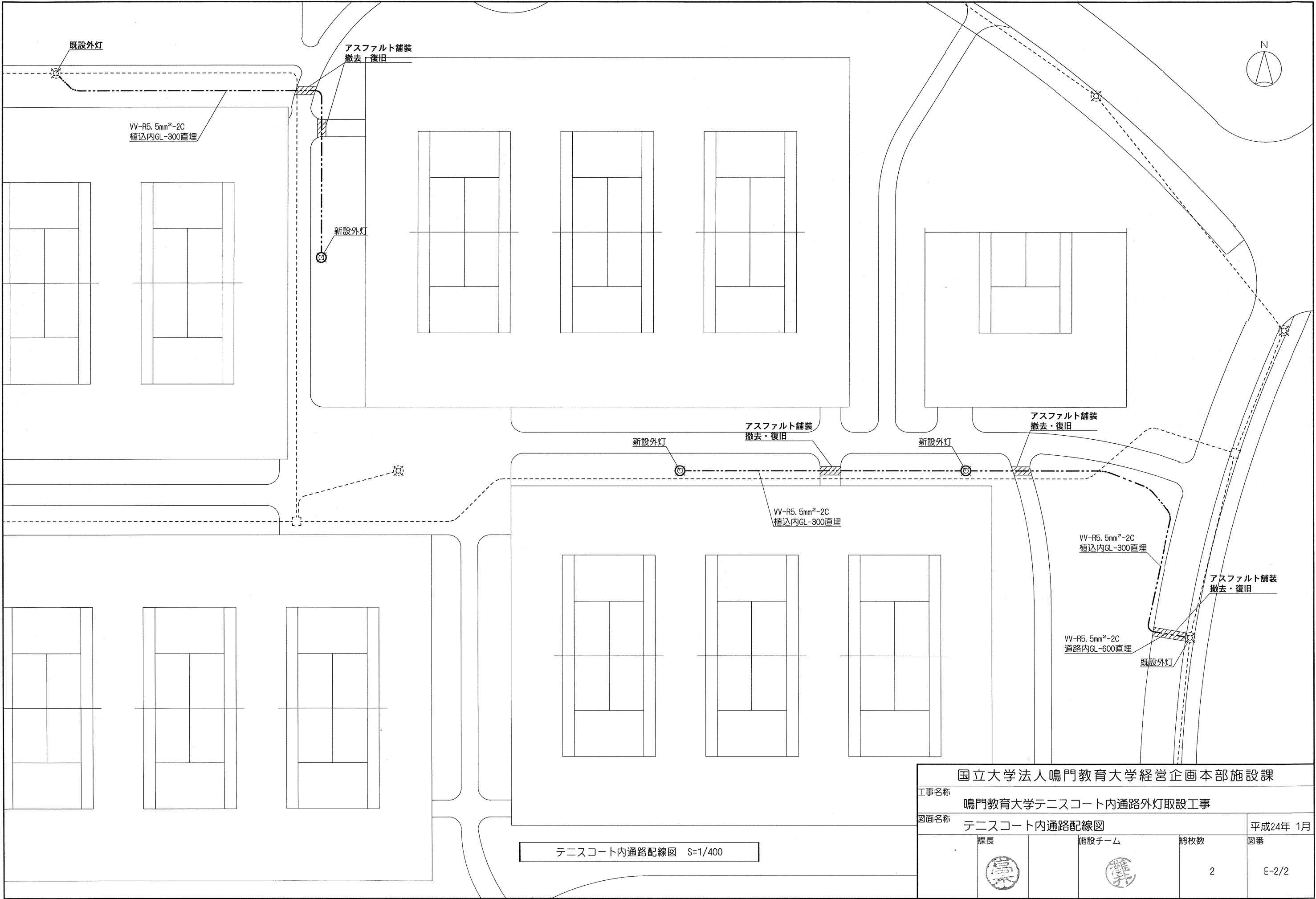
鳴門教育大学高島団地配置図 S=1/6,000



仕様
ランプ : 無電極放電灯150
本 体 : アルミダイキャスト
グローブ: ポリカーボネート
参考型番: パナ電工(株) YEV42421C
ポール : クリア塗装仕上げ
埋込アルミポール地上高4.5m
合成樹脂製防水ボックス外灯ポール内用
送り端子なし 200V MCCB2P30AF 内蔵

外灯姿図 S=free

国立大学法人鳴門教育大学経営企画本部施設課				
工事名称 鳴門教育大学テニスコート内通路外灯取設工事				
図面名称 特記仕様書・配置図・照明器具姿図				平成24年 1月
課長	施設チーム	総枚数	図番	
		2	E-1/2	



テニスコート内通路配線図 S=1/400

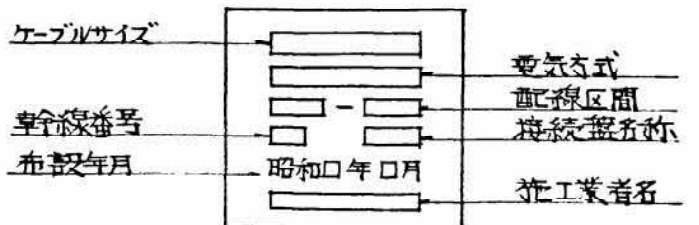
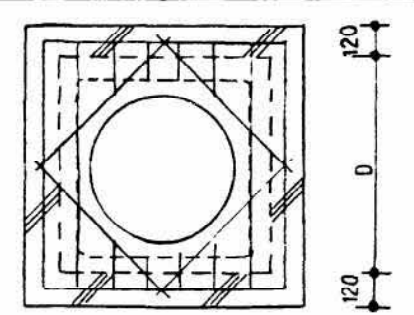
国立大学法人鳴門教育大学経営企画本部施設課			
工事名称 鳴門教育大学テニスコート内通路外灯取設工事			
図面名称 テニスコート内通路配線図			平成24年 1月
課長	施設チーム	総枚数	図番
		2	E-2/2

外線工事凡例

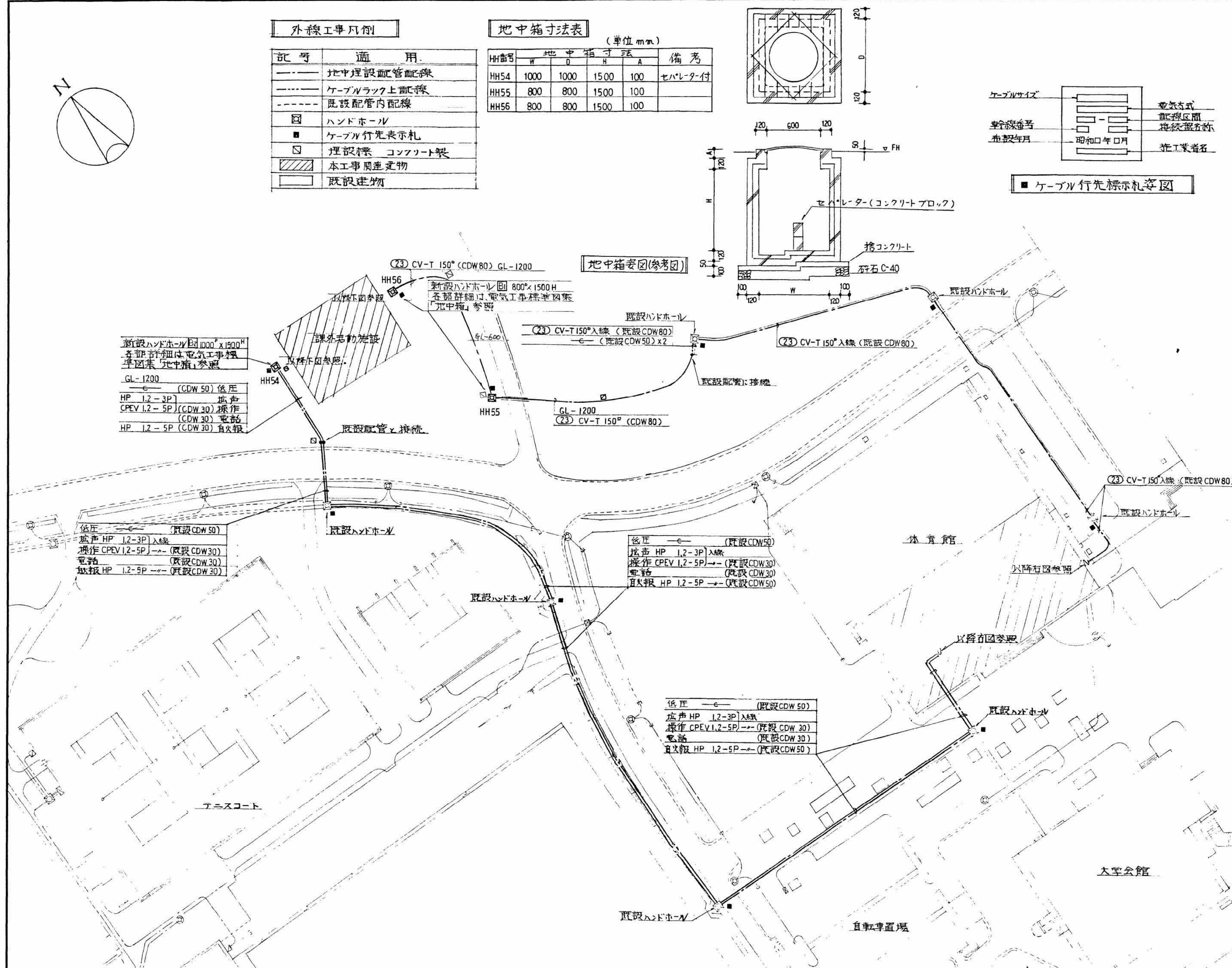
記号	通称
---	地下埋設配管線
---	ケーブルラック上面配線
---	既設配管内配線
□	ハンドホール
■	ケーブル行先表示札
□	埋設機 コンソート製
▨	本工事関連建物
▩	既設建物

地中箱寸法表

H(高さ)	地中箱寸法			備考
	W(幅)	D(深さ)	A(長さ)	
HH54	1000	1000	1500	セパレーター付
HH55	800	800	1500	
HH56	800	800	1500	

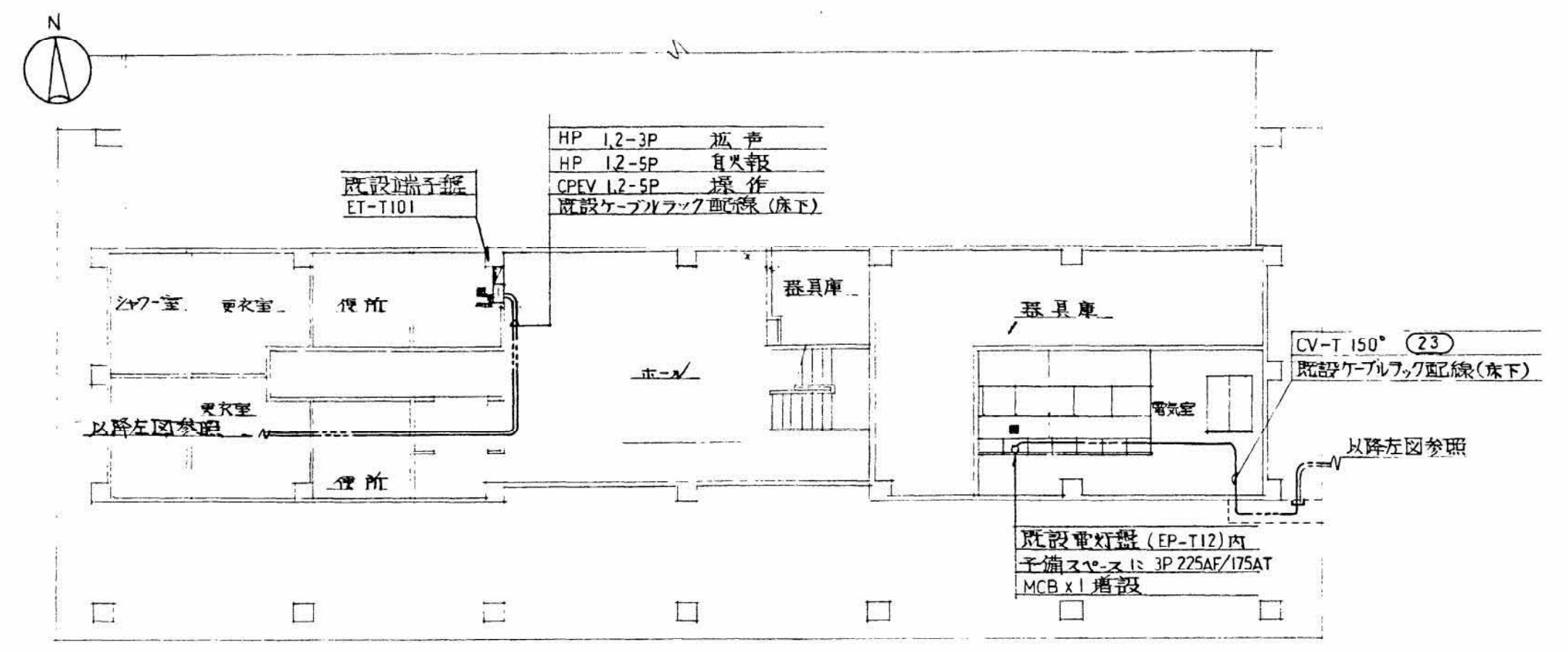


ケーブル行先表示札要図

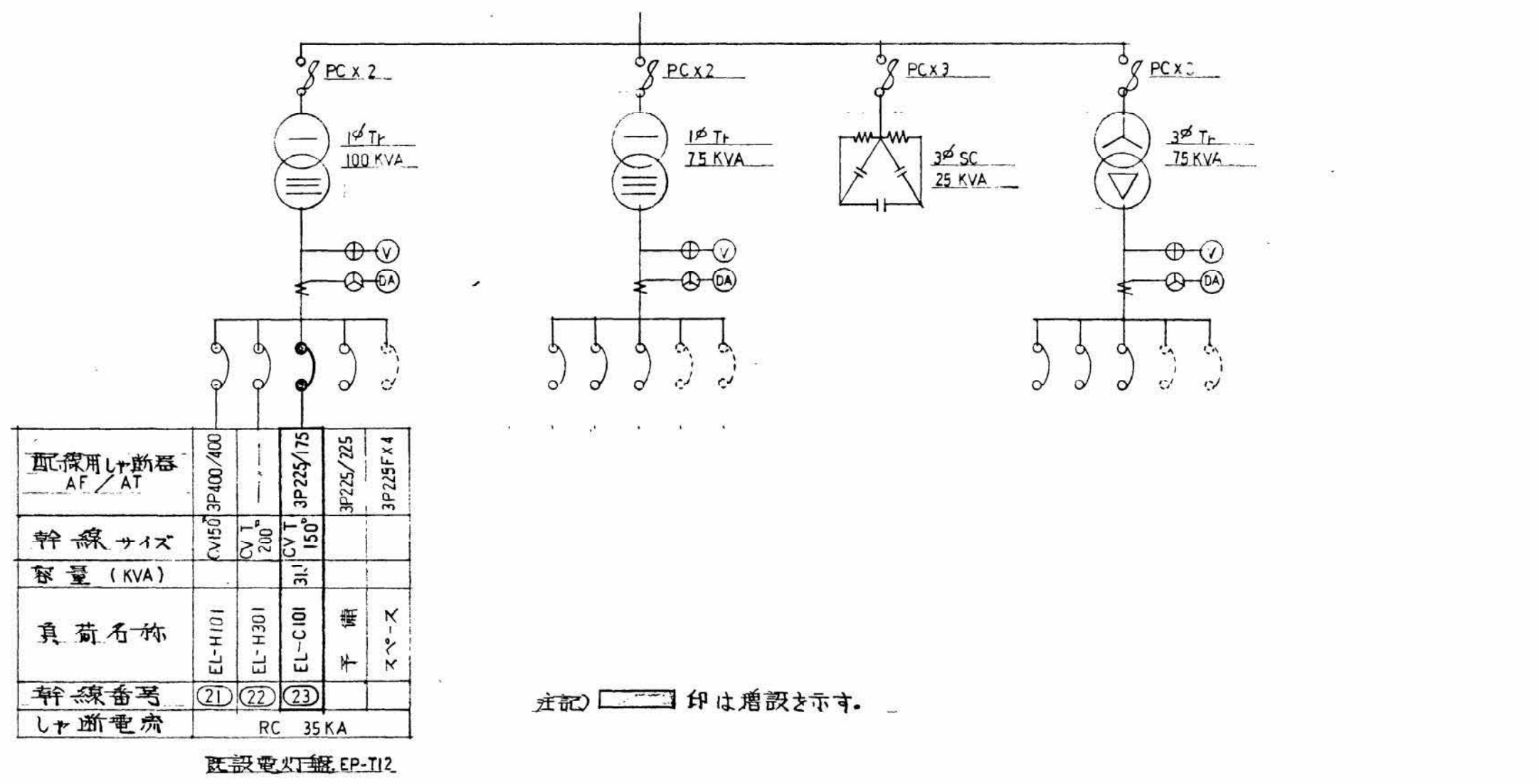


既設体育館配線図

S・1/200

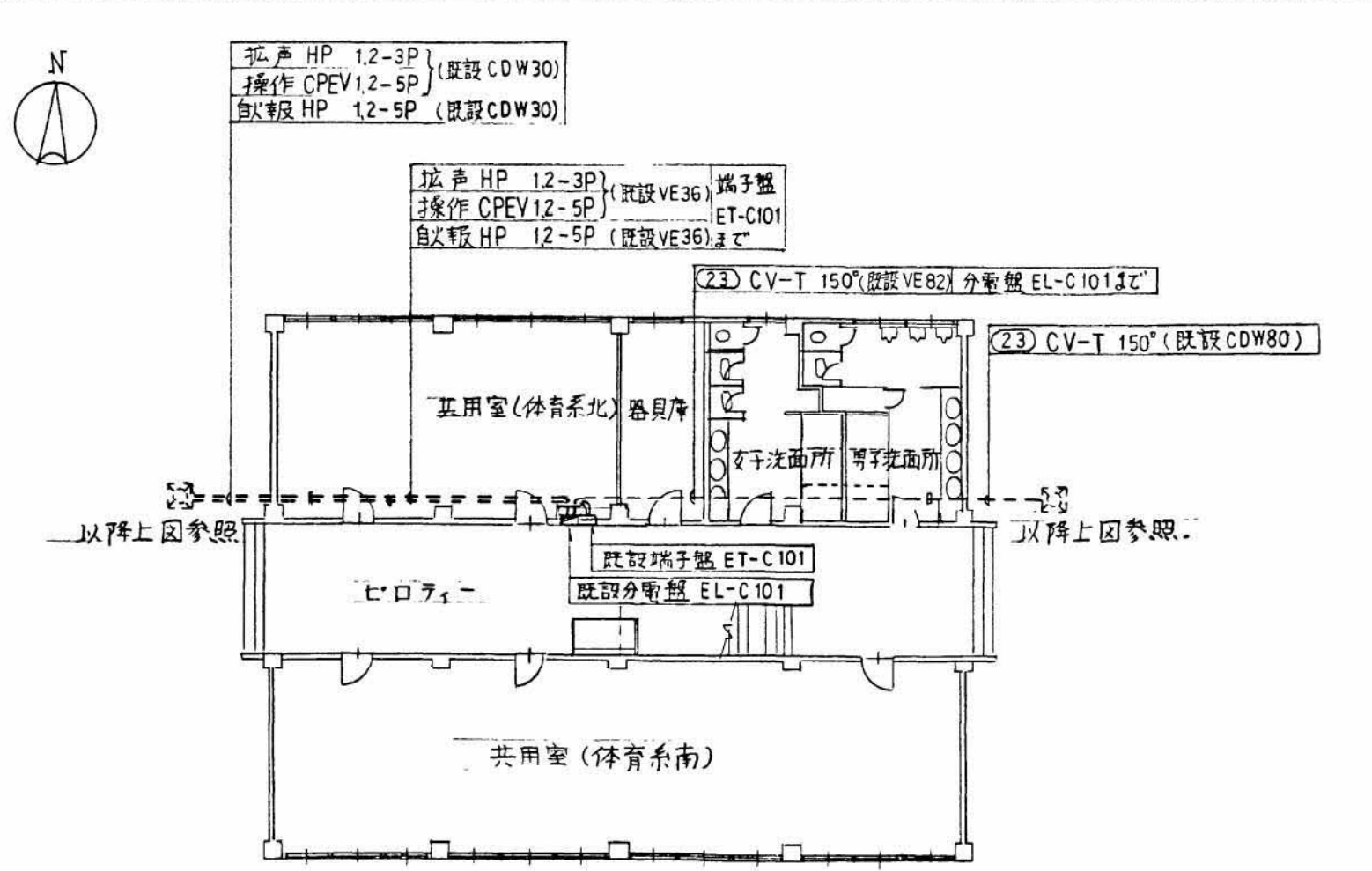


既設体育館変電設備改修単線結線図



既設体育館外観写真位置図

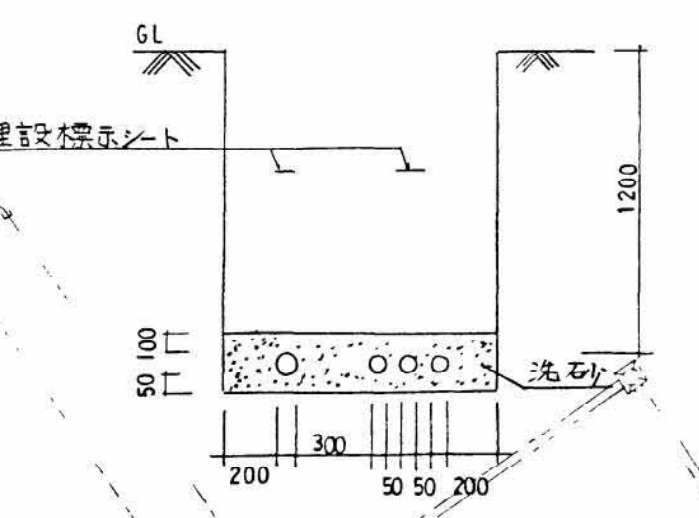
S・1/200



外線工事図

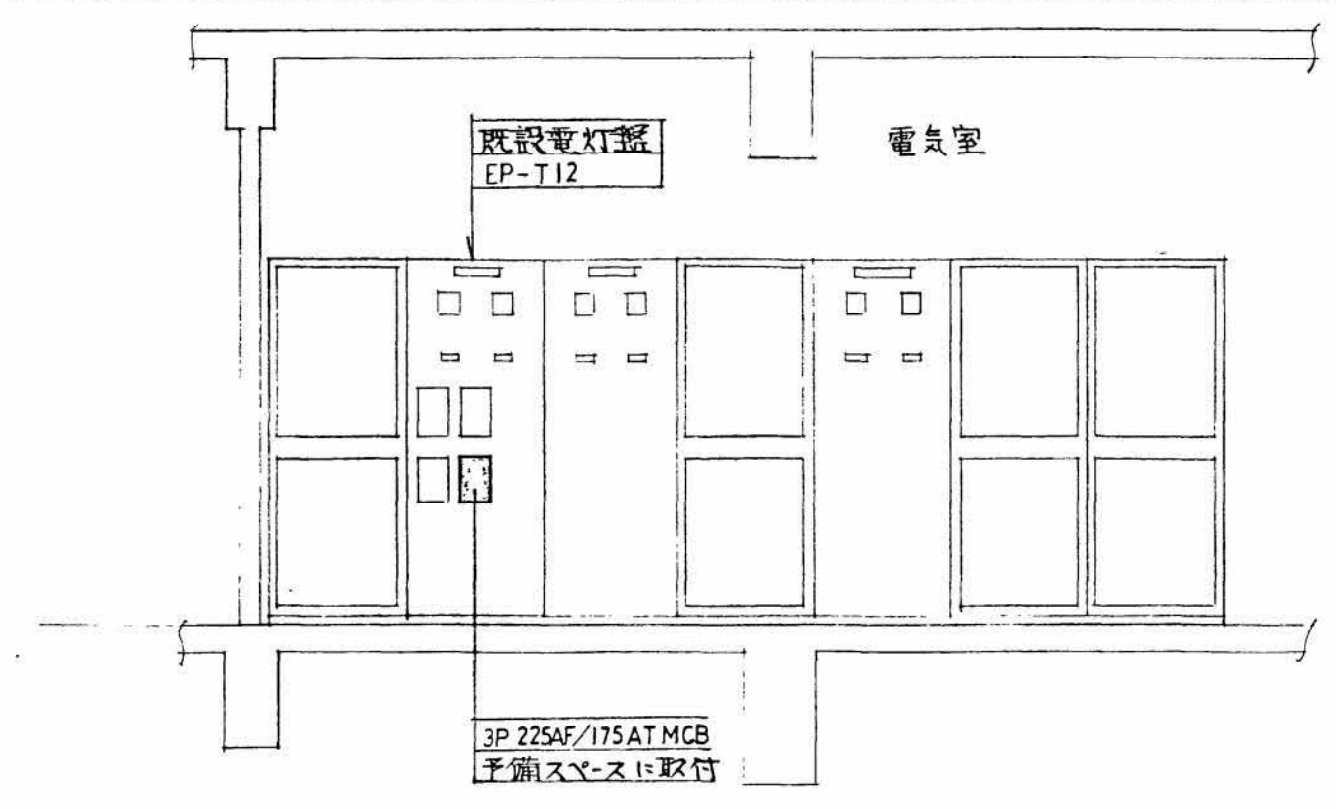
S・1/500

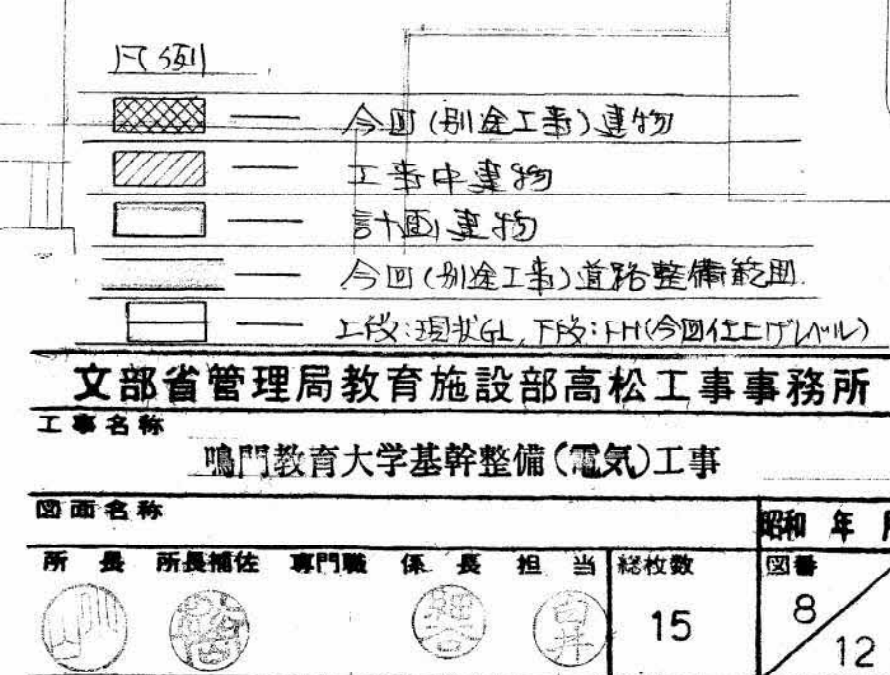
地下埋設配管要領図



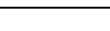
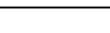
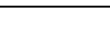
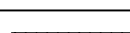
既設体育館変電設備改修図

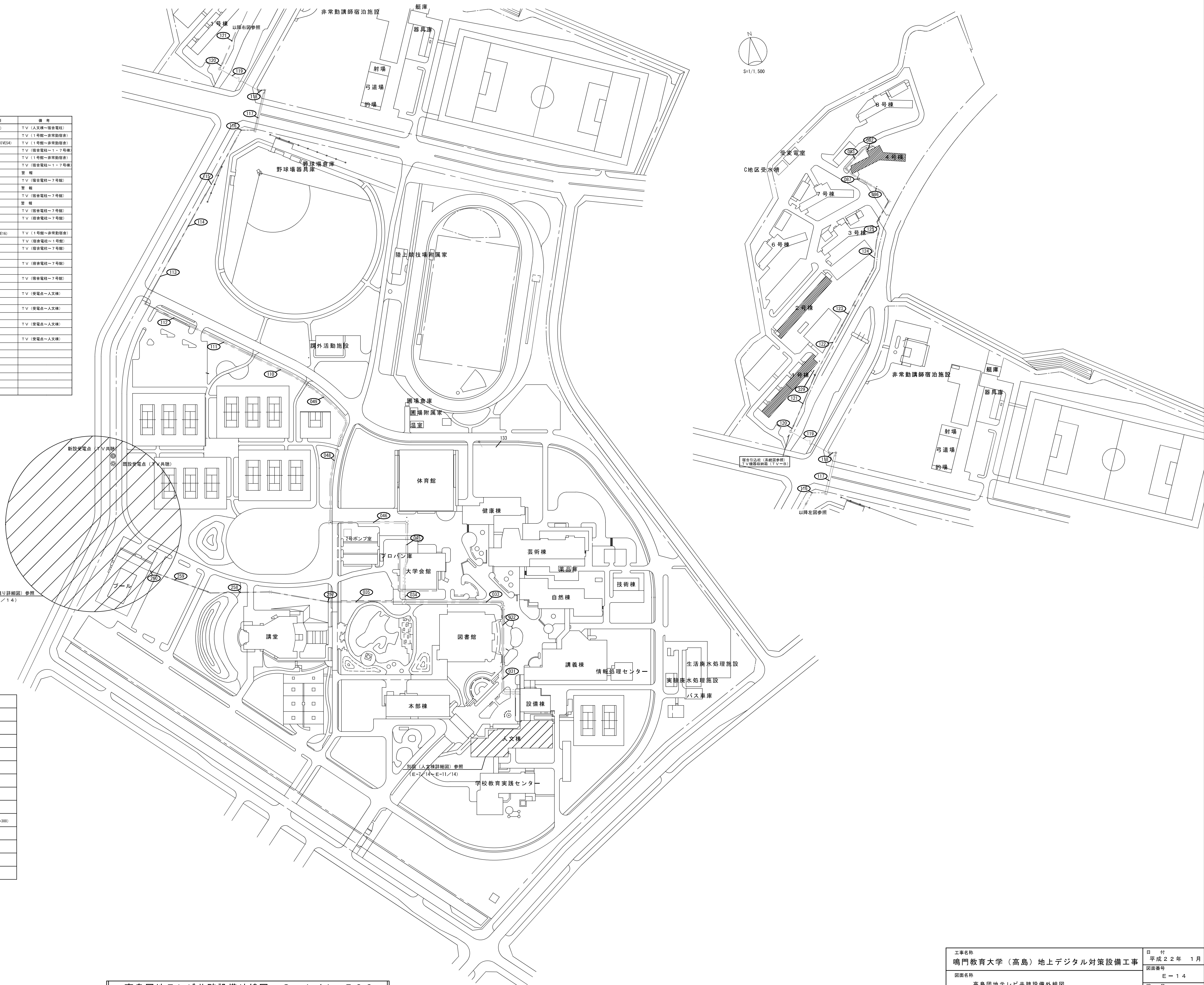
S・1/50



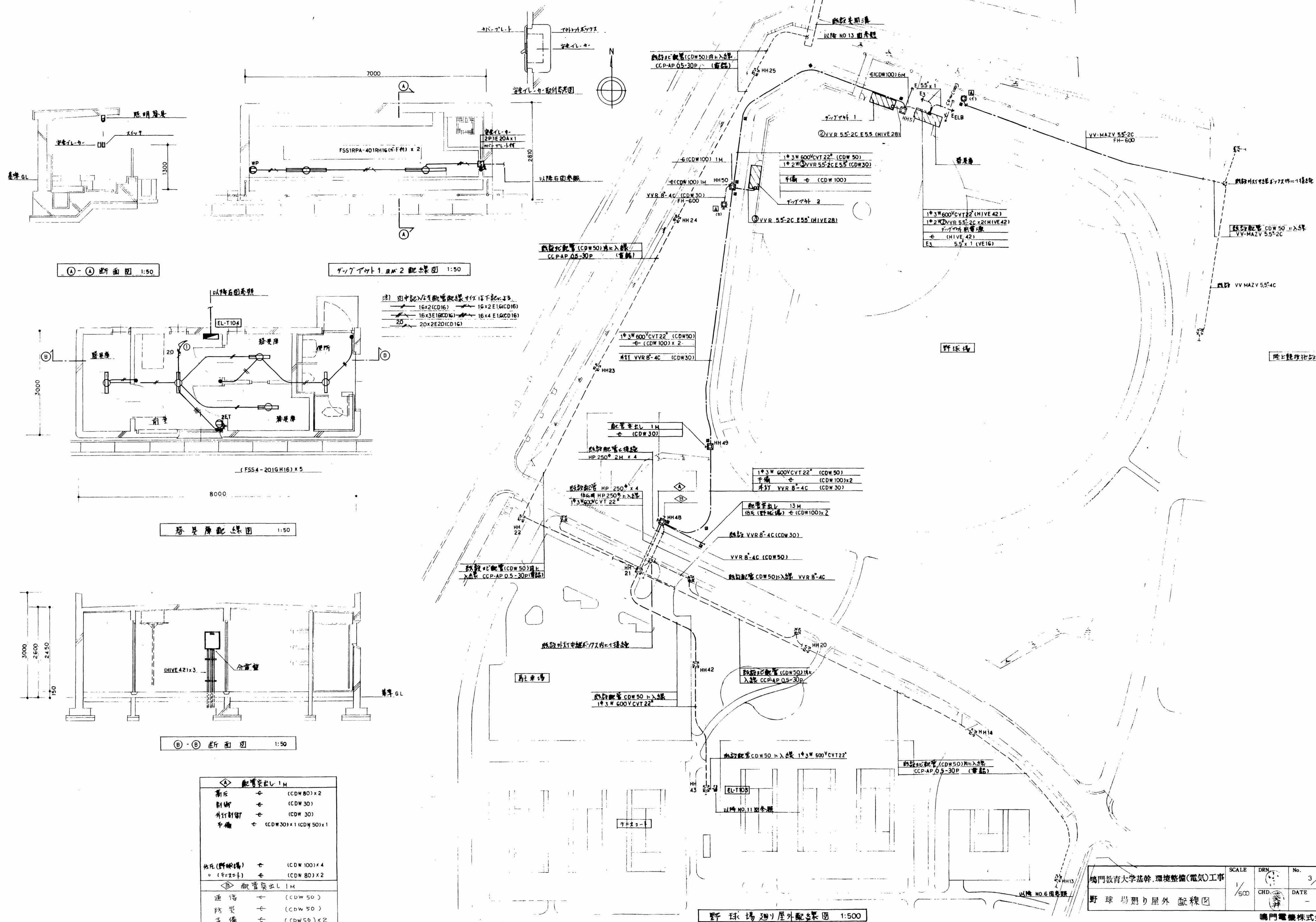


記号	仕様・構造	備考	記号	仕様・構造	備考
(0.3)	SM-2C	T V (受電～入文線)	(1.19)	SM-2C (受電・2階・動高5)	T V (入文線～留合電柱)
	SM-2C	T V (入文線～留合電柱)		残股7C-F-L-B-8	T V (1号組～非常動合器)
(0.32)	SM-2C	T V (受電～入文線)	(1.2)	EM-S-7C-F-B × 2 (HIVE54)	T V (留合電柱～1・7号組)
	SM-2C	T V (入文線～留合電柱)	(1.21)	EM-S-7C-F-B × 2	T V (1号組～非常動合器)
(0.33)	SM-2C	T V (受電～入文線)		残股CPEV1・2・5-F	T V (留合電柱～1・7号組)
	SM-2C	T V (入文線～留合電柱)	(1.23)	EM-S-7C-F-B	警 報
(0.34)	SM-2C	T V (入文線～留合電柱)		残股CPEV1・2・5-F	T V (留合電柱～7号組)
(0.35)	残股G1-6C	隔座線併用	(1.24)	EM-S-7C-F-B	T V (留合電柱～7号組)
	SM-SM-2C	T V (受電～入文線)		残股CPEV1・2・5-F	警 報
(0.45)	SM-2C	T V (入文線～留合電柱)	(1.25)	EM-S-7C-F-B	T V (留合電柱～7号組)
			(0.86)	EM-S-7C-F-B	T V (留合電柱～7号組)
(0.46)	SM-2C	T V (入文線～留合電柱)		EM-S-7C-F-B	T V (留合電柱～7号組)
(0.49)	SM-2C	T V (入文線～留合電柱)	(2.25)	EM-S-7C-F-B (HIVE16)	T V (1号組～非常動合器)
			(0.87)	EM-S-7C-F-B	T V (留合電柱～1号組)
(0.49)	SM-2C	T V (入文線～留合電柱)		EM-S-7C-F-B	T V (留合電柱～7号組)
(1.10)	SM-2C	T V (入文線～留合電柱)	(0.88)	EM-S-7C-F-B	T V (留合電柱～7号組)
(1.11)	SM-2C	T V (入文線～留合電柱)	(0.89)	EM-S-7C-F-B	T V (留合電柱～7号組)
(1.12)	SM-2C	T V (入文線～留合電柱)	(2.57)	SM-2C	T V (受電～入文線)
(1.13)	SM-2C	T V (入文線～留合電柱)	(2.58)	SM-2C	T V (受電～入文線)
(1.14)	SM-2C	T V (入文線～留合電柱)	(2.59)	SM-2C	T V (受電～入文線)
(1.15)	SM-2C	T V (入文線～留合電柱)	(2.60)	SM-2C	T V (受電～入文線)
(1.16)	SM-2C	T V (入文線～留合電柱)			
(1.17)	SM-2C (トレンチ)	T V (入文線～留合電柱)			
(1.18)	SM-2C	T V (入文線～留合電柱)			

記 号	名 称	摘 要
	既設電灯分電盤	予備回路
	新設受電点（TV共聴）	変調参照
	既設受電点（TV共聴）	変調参照
	ハンドホール	寸法、仕様は平面図参照
	ハンドホール（既設）	
	ケーブル表示札	nは枚数を示す
	コロガシ配線	
	地中埋設配管配線	土部分（QL=600） 727±8部分（QL=300）
	床下ビット内配管	
	アスファルトはつり補修を示す	



工事名称	日付
鳴門教育大学（高島）地上デジタル対策設備工事	平成22年 1月
図面名称	図面番号
高島国土地テレビ共聴設備外線図	E-14
	縮尺
	1/1,500
田村電設株式会社	設計者



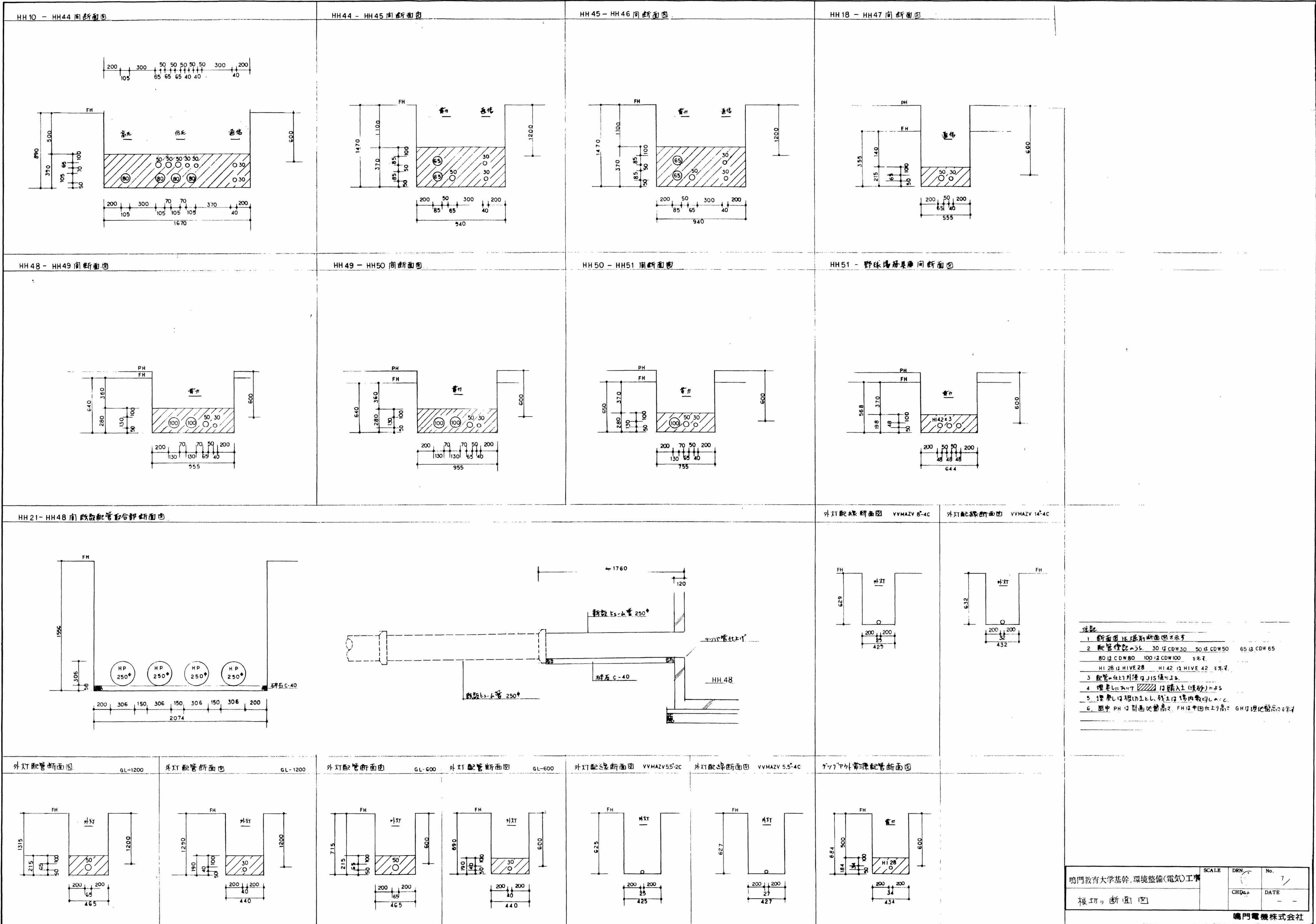
①-① 断面図 1:50

②-② 断面図 1:50

器具庫配線図 1:50

③-③ 断面図 1:50

配管突出 1M		
高圧	φ	(CDW80) x 2
制断	φ	(CDW30)
外付制断	φ	(CDW30)
予備	φ	(CDW30) x 1 (CDW50) x 1
器具(野球場)		
φ	φ	(CDW100) x 4
φ	φ	(CDW80) x 2
配管突出 1M		
通	φ	(CDW50)
防	φ	(CDW50)
予備	φ	(CDW50) x 2



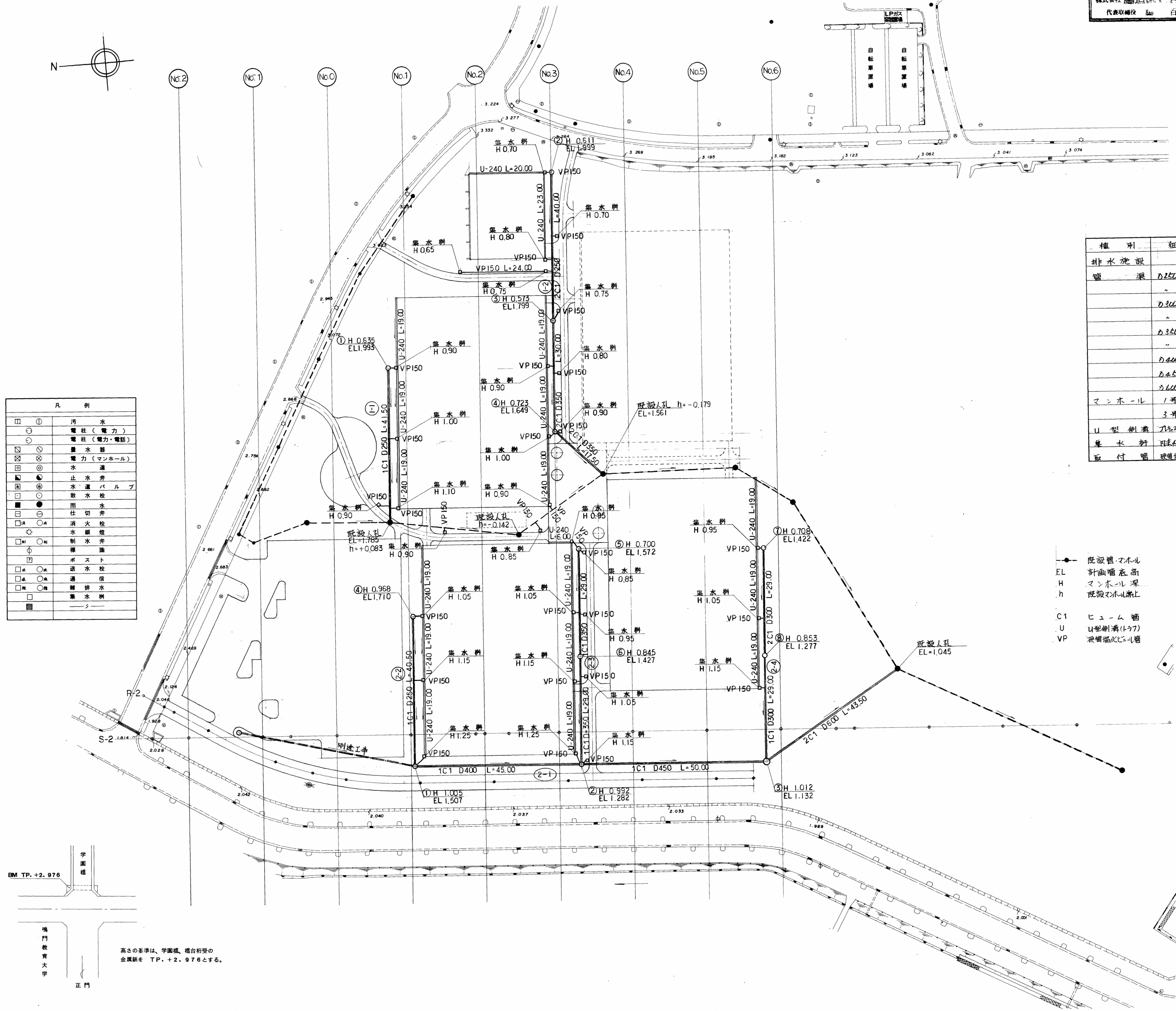
注記
1 断面図は概略断面図を示す
2 配管径は、30 は CDW30 50 は CDW50 65 は CDW65
80 は CDW80 100 は CDW100 表示
H1 28 は HIVE 28 H1 42 は HIVE 42 表示
3 配管は、外灯は JIS 値に準ずる
4 埋入は、埋入土 (砂) に準ずる
5 埋入は、埋入土とし、残土は、埋入土に準ずる
6 図中 PH は、地面の高さ、FH は、管内の高さ、GH は、埋入土の高さ

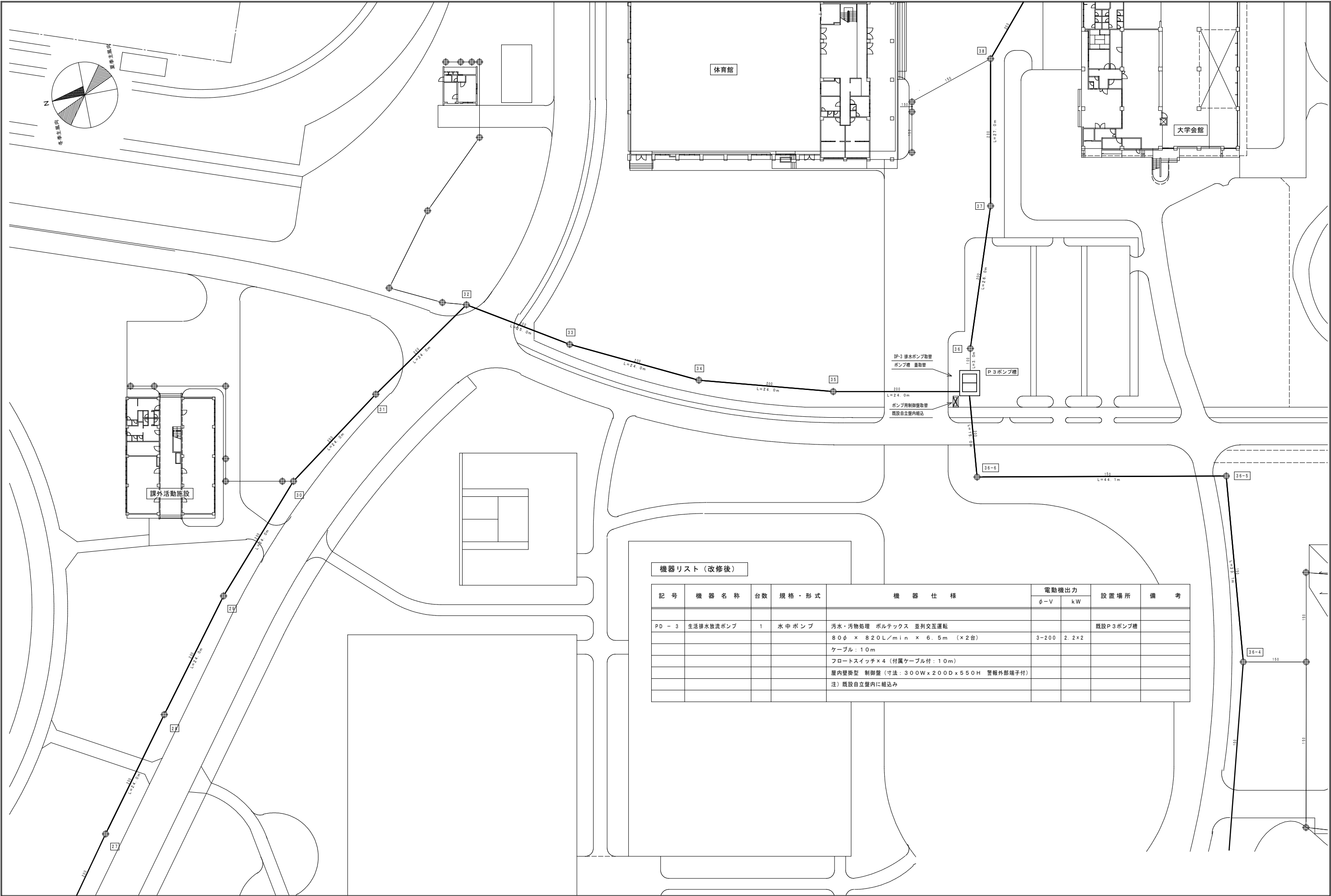
校取

凡 例	
①	汚 水
⊙	電 柱 (電 力)
⊖	電 柱 (電 力 ・ 電 話)
⊗	集 水 槽
⊗	電 力 (マ ン ホ ー ル)
⊗	水 道
⊗	止 水 弁
⊗	水 道 バ ル ブ
⊗	散 水 栓
⊗	雨 水
⊗	仕 切 弁
⊗	消 火 栓
⊗	水 銀 燈
⊗	制 水 弁
⊗	橋 梁
⊗	ポ ス ト
⊗	送 水 栓
⊗	通 信
⊗	排 水 溝
⊗	集 水 溝
⊗	— S —

種 別	細 則	数 量
排水施設		
管 渠	D150 1-C1 90°	80.2 m
	" 2-C1 90°	39.1 m
	D300 1-C1 90°	28.1 m
	" 2-C1 90°	27.8 m
	D350 1-C1 90°	56.2 m
	" 2-C1 90°	45.7 m
	D400 1-C1 90°	44.1 m
	D450 1-C1 90°	42.8 m
	D600 2-C1 90°	42.15 m
マンホール	1号	11 箇所
	3号	1 箇所
U 型 側溝	7×21×1.240 9ヶ所	334.0 m
集 水 槽	1000×400×400 9ヶ所	31 箇所
取 付 管	破損掘り管 VP150	87.0 m

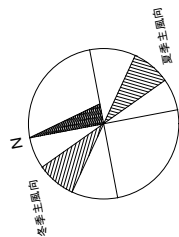
● 既設管・マンホール
EL 計画管底高
H マンホール深
h 既設マンホール
C1 ヒューム管
U U型側溝(1.57)
VP 破損掘り管





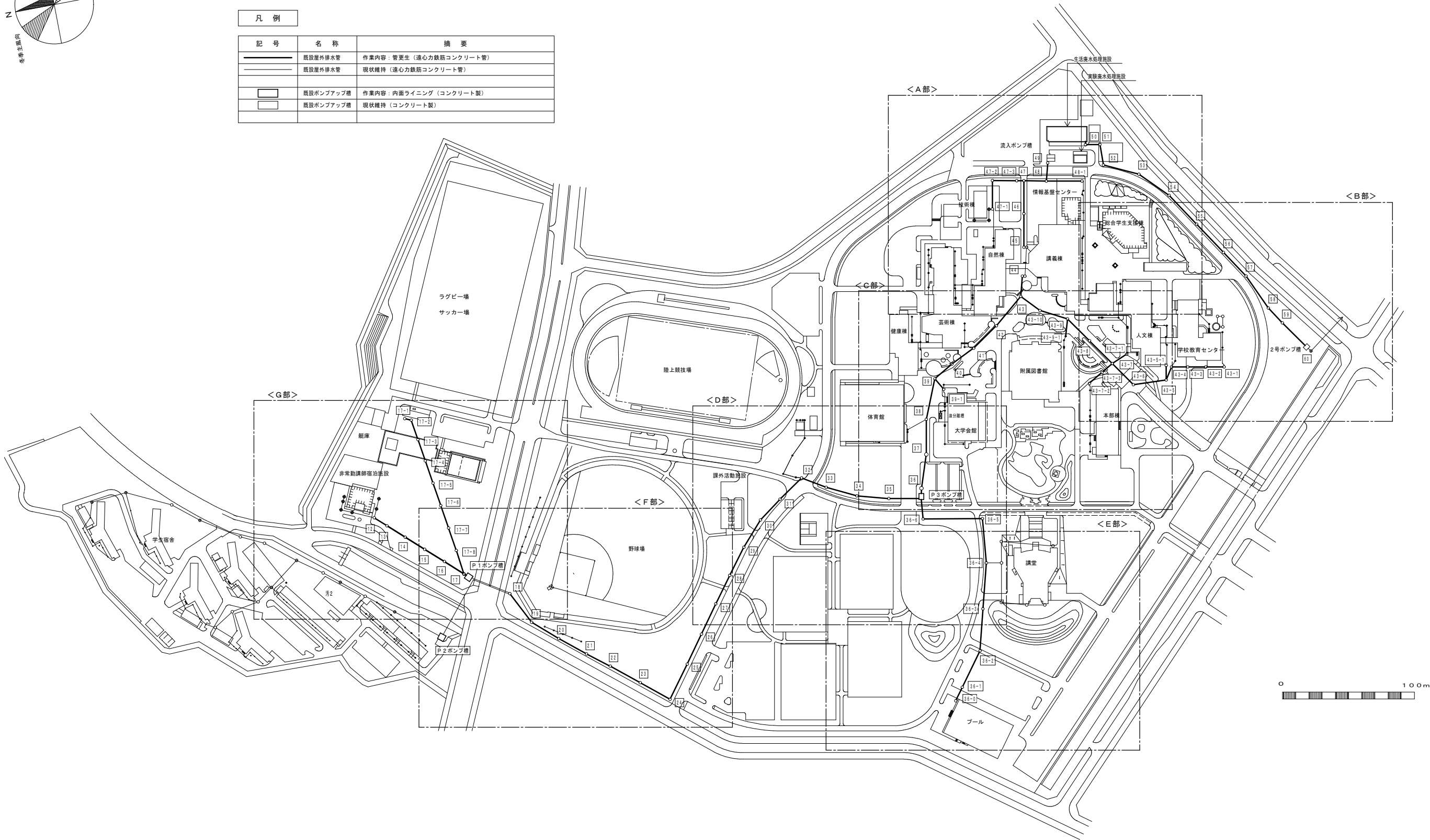
機器リスト（改修後）

記 号	機 器 名 称	台数	規 格 ・ 形 式	機 器 仕 様	電動機出力		設 置 場 所	備 考
					φ-V	kW		
PD - 3	生活排水放流ポンプ	1	水 中 ポンプ	汚水・汚物処理 ポルテックス 並列交互運転			既設P3ポンプ槽	
				80φ × 820L/min × 6.5m (×2台)	3-200	2.2×2		
				ケーブル：10m				
				フロートスイッチ×4 (付属ケーブル付：10m)				
				屋内壁掛型 制御盤 (寸法：300W×200D×550H 警報外部端子付)				
				注) 既設自立壁内に組込み				

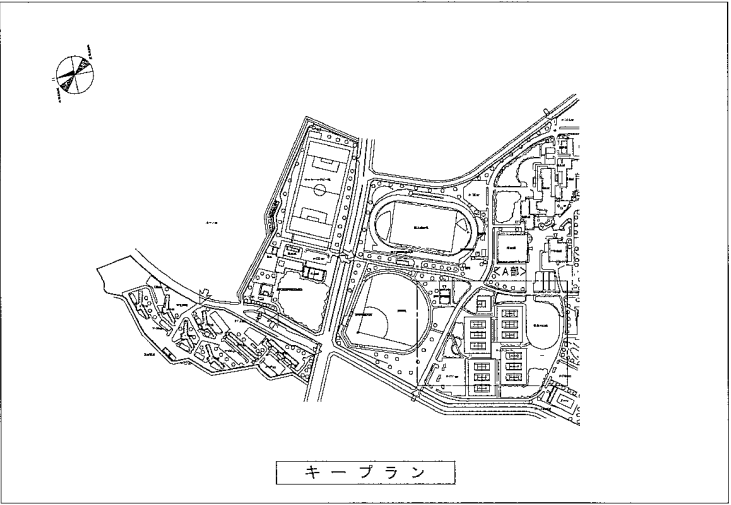
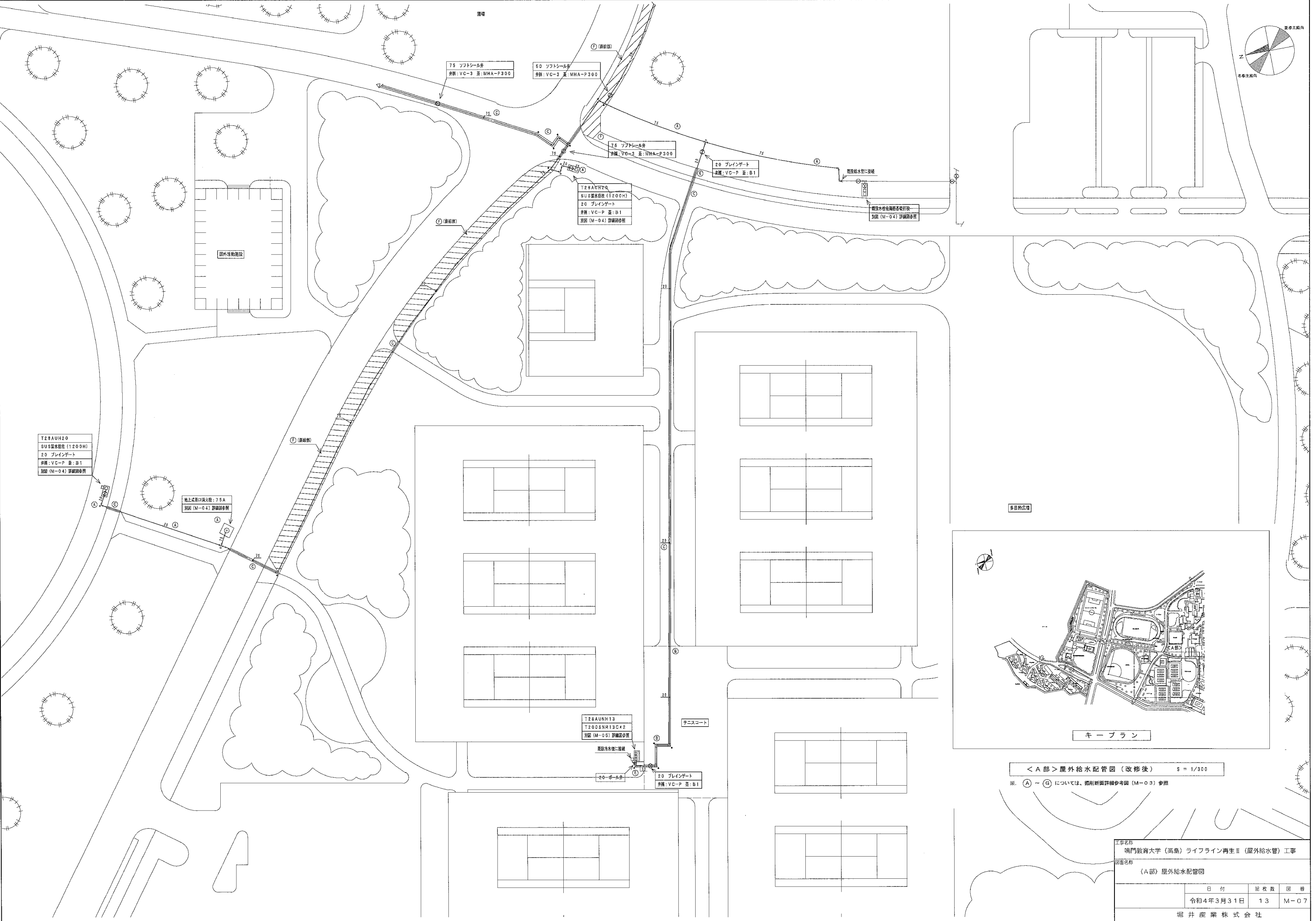


凡 例

記 号	名 称	摘 要
	既設屋外排水管	作業内容：管更生（遠心力鉄筋コンクリート管）
	既設屋外排水管	現状維持（遠心力鉄筋コンクリート管）
	既設ポンプアップ槽	作業内容：内面ライニング（コンクリート製）
	既設ポンプアップ槽	現状維持（コンクリート製）

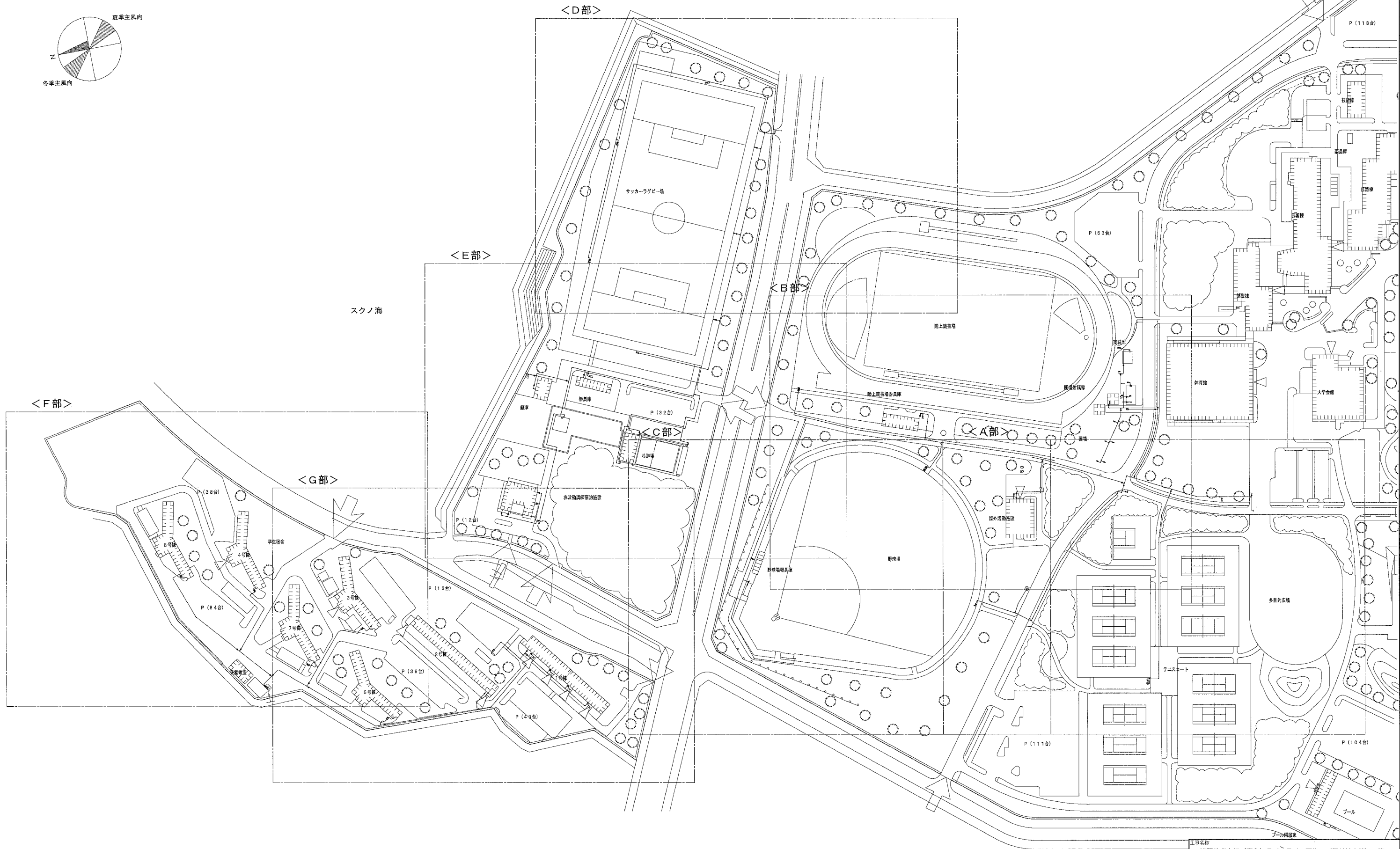
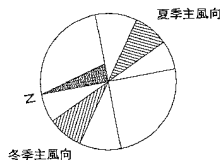


管更生 構内汚水主管路配管図 S = 1/2,500
※) 図示する太線の屋外排水管は、管更生対象配管とする。細線は、残置とする。



< A 部 > 屋外給水配管図 (改修後) S = 1/300
※ (A) ~ (G) については、断面詳細参考図 (M-03) 参照

工事名称 鳴門教育大学（高島）ライフライン再生Ⅱ（屋外給水管）工事			
図面名称 （A部）屋外給水配管図			
	日 付	図 枚 数	図 番
	令和4年3月31日	1 3	M-07
堀 井 産 業 株 式 会 社			



構内給水管路配管図（改修後） S = 1/1,000

※) 表示する太線の排水管は、配管更新を示す。

工事名称 鳴門教育大学（高島）ライフライン再生Ⅱ（屋外給水管）工事			
図面名称 構内給水管路配管図			
	日付	総枚数	図番
	令和4年3月31日	13	M-06
堀井産業株式会社			



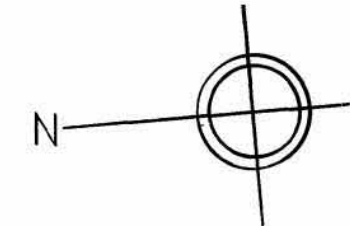
凡 例	
①	汚 水
○	電 柱 (電 力)
○	電 柱 (電力・電話)
⊗	量 水 器
⊗	電 力 (マンホール)
⊗	水 道
⊗	止 水 弁
⊗	水 道 バ ル プ
⊗	散 水 栓
⊗	雨 仕 切 弁
⊗	消 火 栓
⊗	水 銀 燈
⊗	制 水 弁
⊗	標 識
⊗	ポ ス ト
⊗	送 水 栓
⊗	通 信 塔
⊗	障 水 柵
⊗	集 水 溝
⊗	クレーンクレーン

番号	施設名	備考
①	練習コート	ハードコート
②	硬式テニスコート	——
③	練習ホールド	R.C.道
④	テニスコート付属屋	(別途工事)
⑤	舗装広場	コンクリート
⑥	芝生広場	(別途工事)
⑦	歩 道	アスファルト
⑧	ツリーサークル	鉄 筋
⑨	足 洗 場	R.C.道

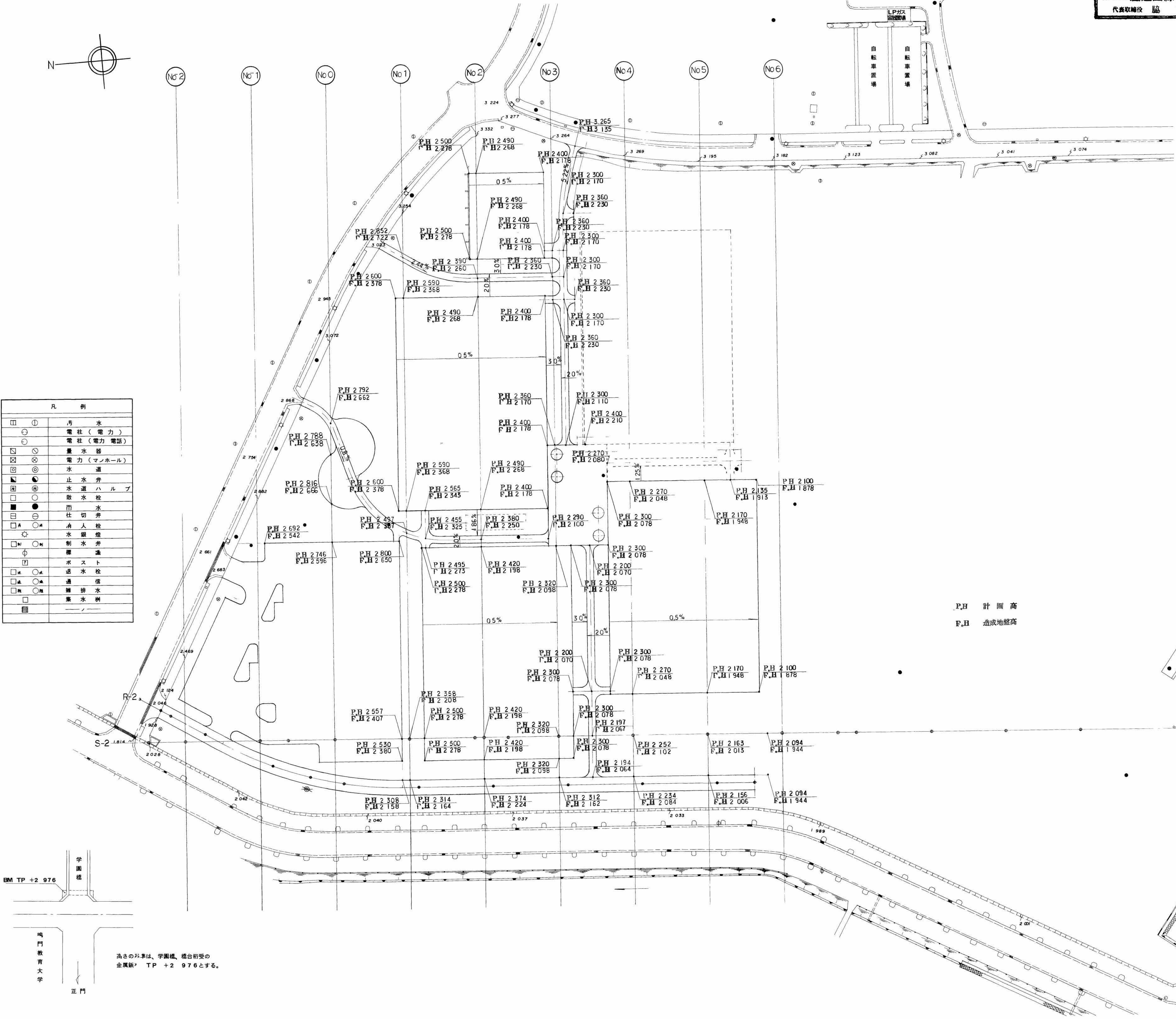
特記：緑地工事は、全く別途工事とする。

鳥門教育大学施設課					
工事名称 鳥門教育大学基幹・環境整備(陸上競技場・テニスコート等)工事					
図面名称 平面図					
課長	課長補佐	係長	係	総枚数	図番
				61	38

換取



凡 例	
①	汚 水
○	電 柱 (電 力)
○	電 柱 (電 力 電 話)
⊗	量 水 器
⊗	電 力 (マノホール)
⊙	水 道
●	止 水 弁
⊗	水 道 ハ ル プ
○	散 水 栓
●	市 水
○	仕 切 弁
○	消 人 栓
☆	水 銀 燈
○	制 水 弁
⊕	標 識
□	ポ ス ト
○	透 水 栓
○	通 信
○	雑 排 水
○	葉 水 樹
—	ノ



P.H 計画高
F.H 造成地盤高

BM TP +2 976

学園橋

鳴門教育大学

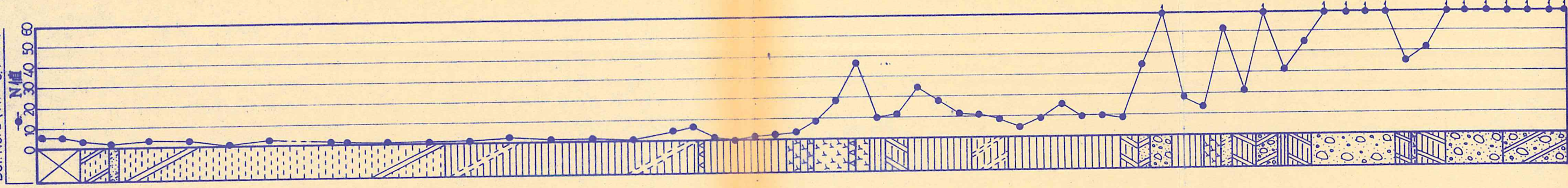
正門

高さの基準は、学園橋、橋台桁受の
金属板 TP +2 976とする。

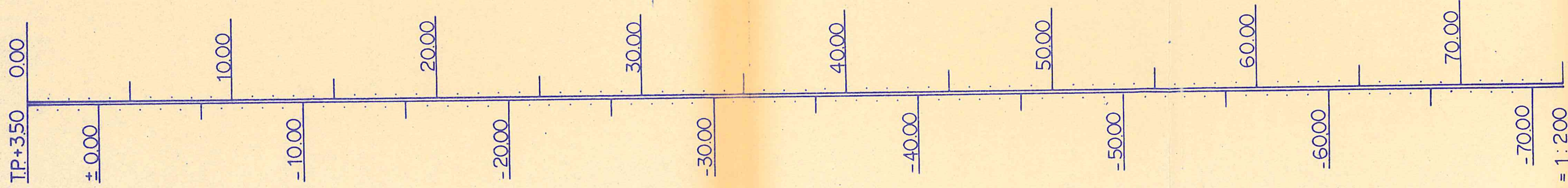
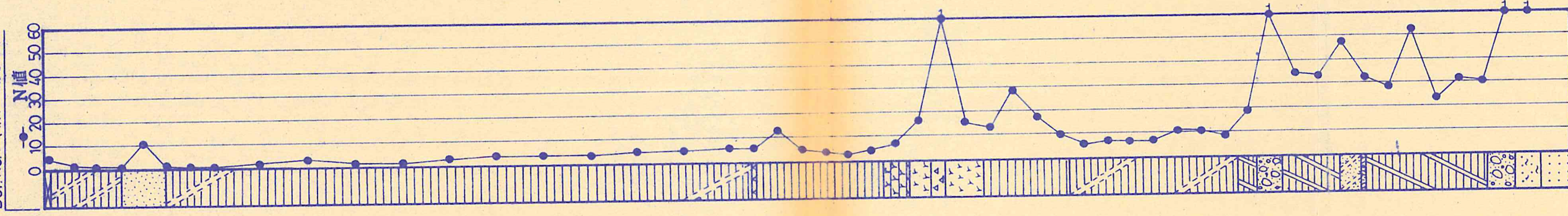
鳴門教育大学施設課					
工事名称					
鳴門教育大学基幹・環境整備(陸工競技場 テニスコート等)工事					
図面名称 計画高図					
課長	課長補佐(保長)	係	総校数	昭和60年 8 月	
			61	図番 41	

柱状图 (体音用地)

Bor. No. 2 (T.P. + 344 m)



Bor. No. 1 (T.P. + 179 m)



S = 1:200

試維日報解折圖

Box, No 1

観尺	深度 (m)	柱状図	地質名	月/日 前 天候	6/14後	6/15後	6/16後	6/18後	6/19後	観尺 / 投前 / 投前 / 投前 / 投前
2	0.30		シルト質粘土	(90)	160					2
4	3.30		細砂	1325 1370						4
6	5.20			1430 500 - 540						6
8				1500						8
10				1600						10
12				1700						12
14				1800						14
16				1900						16
18			シルト質粘土	2000						18
20				2100						20
22				2200						22
24				2300						24
26				2400						26
28				2500						28
30	31.15		粘土	2600						30
32	31.35			2700						32
34				2800						34
36	35.80		角礫質粘土	2900						36
38	36.90		角礫質粘土	3000						38
40	37.80		角礫質粘土	3100						40
42	38.40		角礫質粘土	3200						42
44	40.05		角礫質粘土	3300						44
46	43.70		粘土	3400						46
48				3500						48
50	50.80		シルト質粘土	3600						50
52	51.60		砂質粘土	3700						52
54	52.70		砂質粘土	3800						54
56	55.20		砂質粘土	3900						56
58	56.10		シルト質粘土	4000						58
60	56.30		粘土	4100						60
62	61.40		砂質粘土	4200						62
64	62.60		砂質粘土	4300						64
66	63.70		風化砂岩	4400						66
68	65.00		砂岩	4500						68
70				4600						70
72				4700						72
74				4800						74
76				4900						76
78				5000						78
80				5100						80

図狀柱リボー調査調盤地

ボーリング番号	No. 1	備考
調査地名	鳴門教育大学課外活動センター用地地盤調査	
工事主体	鳴門教育大学	
所在地	徳島県鳴門(市)郡鳴門(町)村 高島 手字	
調査年月日	昭和61年11月13.日～11月13日	
標高	T. P. +3. 46 m 基準 T. P+4. 000 m	
ボーリング工法	ロータリー工法	
実施者名	西日本ボーリング工業株式会社	

